KL-G1

取扱説明書 保証書付

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

J

準備編	電源との接続、テープカートリッジの装着などを説明しています。
おためし印刷編	簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。
ラベル作成編	工夫したデータの作り方を説明しています。
デザインロゴ編	デザインロゴの印刷やインストールの方法を説明しています。
入力・編集編	文字の入力・修正や書体の変更などを説明しています。
設定編	画面の輝度、印刷の濃度、入力音の設定などを説明しています。
付録	使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

RJA520023-002V01
MO1108-A

CASIO

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© 2011 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書は KL-G1 について説明しています。
  付属のソフトウェアについては、「CD-ROM 収録の PDF ファイル取扱説明書」をご参照ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをはずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず指定品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する

- １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

AC アダプター／ USB ケーブルについて

電源コード／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

AC アダプター／ USB ケーブルについて

- 濡れた手で電源コード／ USB ケーブルやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- AC アダプター /USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター /USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをはずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

水、液体、異物はさける

水、スポーツドリンク、海水、動物･ペットの尿、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをはずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

⚠ 警告

AC アダプターについて

外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、電源コード／ AC アダプターはコンセントから抜いてください。電源コード／ AC アダプターに噛みついた場合、ショート（短絡）により、火災や感電の原因となります。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

AC アダプター／ USB ケーブルについて

AC アダプター／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／ USB ケーブルを引っ張らない（必ず AC アダプター本体／ USB ケーブルのプラグを持って抜く）
- AC アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USB ケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは AC アダプター／ USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、AC アダプター /USB ケーブルのプラグをコンセント / コネクターから抜く
- 電源コードのプラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード（特にプラグ部分）、AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

⚠ 注意

コネクター部への接続

⃠ コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

❗ 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

⃠ 本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

⃠ 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

⃠ ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

高温注意

⃠ プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどする恐れがあります。

表示画面について

⃠
- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

オートテープカッターに注意する

⃠ 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。
  使用温度範囲は、10℃～ 35℃です。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（100 ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

準備編 …… 8
各部の名前とはたらき …… 8
本機の操作の流れ …… 9
電源について …… 9
AC アダプターで使う …… 9
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！ …… 10
電源を入れる・切る …… 11
オートパワーオフ（節電）機能について …… 11
印刷する文章の作り方について …… 12
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す …… 13
テープカートリッジを取り付ける …… 13
テープカートリッジを取り外す …… 14
キーのはたらき …… 15
キーの表記について …… 16
画面について …… 17
おためし印刷編 …… 17
まずは作ってみましょう …… 17
ラベルを印刷する …… 17
ラベルを貼る …… 19
テープを空送りする …… 20
テープの余白を「送り無」にしたときは …… 20
終了する …… 20
文字の入力について …… 20
印刷時の注意事項 …… 21
印刷とカットモード …… 21
カットモードについて（オートカッター） …… 21
カットのしかたと余白について …… 24
ラベル作成編 …… 25
ラベル作成の流れ …… 25
フォーマットを選んで作る（用途別ラベル） …… 25
フォーマットを選ぶ …… 26
通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング） …… 28
ナンバリングの種類 …… 28
インデックスラベルを作る …… 30
インデックスラベルの種類 …… 30
自由に入力して作る（ユーザー作成） …… 30
定型句を使って作る …… 32
インデックスラベル「定型句」一覧 …… 34
大きなラベルを作る（拡大印刷） …… 35
フリーラベル
自由に入力して作る（フリーラベル） …… 36
2 行以上のラベルを作る …… 37
文章をブロックに分ける …… 38
ラベルの書式を決める …… 39
ブロックごとに書式を決める …… 39
文章全体の書式を決める …… 40
ラベルの長さを自由に決める …… 43
ブロックの長さを設定する（ブロック長固定） …… 43
ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定） …… 44
CD ケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する
（テープ長さダイレクト設定キー） …… 45
文章のバランスを整える（割付） …… 46
ブロック内で文字のバランスを整える …… 46
ラベル内のブロックのバランスを整える …… 47
文字の大きさを決める …… 48
文字単位で大きさを決める …… 48
行単位で大きさを決める（フォーマット選択） …… 50
フレームを付ける …… 52
縦書きのラベルを作る …… 53
バーコードラベルを作る …… 54
バーコードのタイプ …… 54
バーコードの仕様 …… 56
QR コードラベルを作る …… 57
印刷できる QR コードのタイプ …… 57
伝言板を使う …… 60
作成したデータを登録する・呼び出す …… 61
データを登録する …… 61
登録したデータを呼び出す …… 61
登録したデータを削除する …… 62
デザインロゴ編 …… 63
ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ） …… 63
パソコンにデザインロゴをダウンロードする …… 63
ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する …… 64
デザインロゴを印刷する …… 66
本機内蔵のデザインロゴにおける印刷時の大きさ …… 67
入力・編集編 …… 68
カーソルのはたらきと動かし方 …… 68
ローマ字入力？それともかな入力？ …… 68

ローマ字入力とかな入力を切り換える…… 68
入力する文字の切り替え方法…… 69
ひらがな・カタカナの入力…… 69
アルファベット（大文字・小文字）の入力…… 69
ひらがな・カタカナの入力…… 69
ひらがなの入力…… 69
カタカナの入力…… 70
いろいろな文字の入力方法…… 70
漢字の入力…… 71
文章を入力してから変換する…… 71
漢字１文字ずつ変換する（単漢字変換）…… 72
漢字辞書を使って文字を入力（漢字辞書機能）…… 73
読みから呼び出す…… 73
総画数から呼び出す…… 74
部首から呼び出す…… 74
アルファベット・数字・記号・絵文字の入力…… 76
アルファベットの入力…… 76
数字の入力…… 76
記号（キーに印刷されているもの）の入力…… 77
記号（その他の記号）の入力…… 77
絵文字の入力…… 78
文字を修正・削除するときは…… 78
文字を１文字ずつ消す…… 78
すべての文字を消す（文削除）…… 79
間違った文字を直す…… 79
書体（フォント）を変える…… 81
入力済みの文字の書体を変える…… 82
電源を入れたときの書体を決める…… 83
文字を上付・下付にする…… 84
文字を目立たせる…… 85
文字に飾りを付ける…… 87
文字修飾を指定する…… 87
文字修飾を取り消す…… 88
よく使う語句を登録する / 呼び出す（プリセットタイトル）…… 88
プリセットタイトルを呼び出す…… 88
新しくプリセットタイトルを作る…… 89
プリセットタイトルを修正する…… 89
プリセットタイトルを削除する…… 90
日付や時刻をデータに挿入する…… 90
現在の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスタンプ）…… 91
指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスパン）… 91
入力した文字をコピーする・貼り付ける（コピー・ペースト）…… 92
文字をコピーする…… 92
コピーした文字を貼り付ける（ペースト）…… 92
オリジナルの文字（外字）を作る…… 93
はじめから自分で作る（新規作成）…… 93
本機にある文字を利用して作る（参照作成）…… 94
すでに作ってある外字を修正する…… 94
外字を使う…… 94
登録した外字を削除する…… 95
よく使う語句を辞書に登録する（ユーザー辞書）…… 95
語句を登録する…… 95
登録した語句を修正する…… 96
登録した語句を削除する…… 96

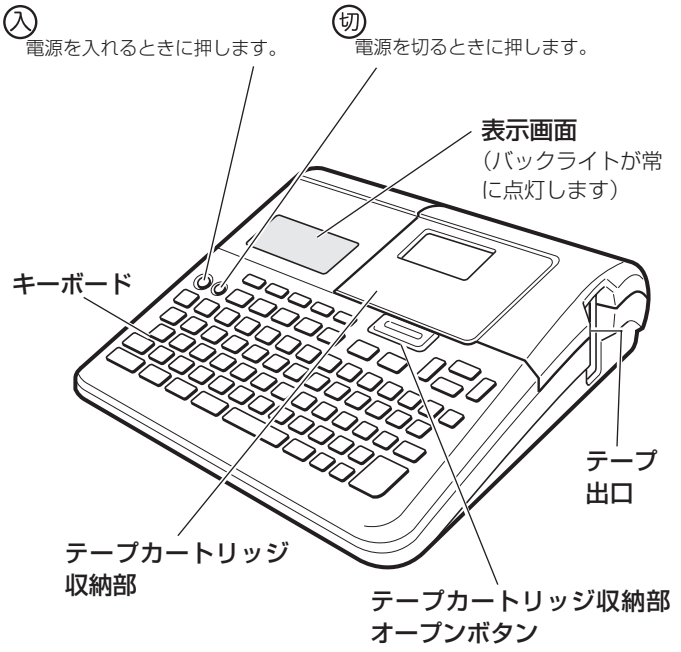
設定編…… 97

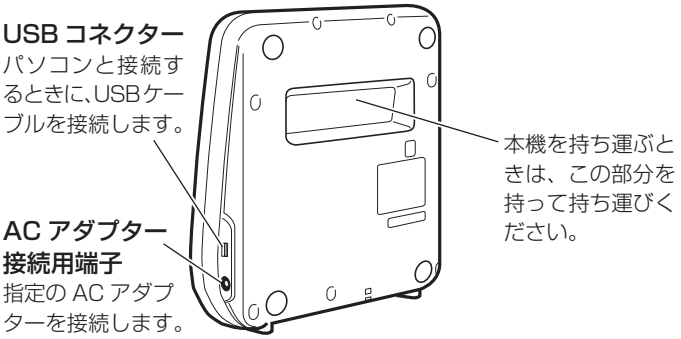
設定を変える…… 97
設定できる項目…… 97
ブザー音を消したい…… 97
画面の明るさを変えたい…… 97
印刷の濃さを変えたい…… 98
日付、時刻を設定する…… 98
サンプルデータを印刷する（デモ印刷）…… 98

付録…… 100

お手入れの方法…… 100
綿棒できれいにする…… 100
クリーニングテープを使う…… 100
こんなときは（トラブルシューティング）…… 101
エラーメッセージ一覧…… 104
ローマ字入力一覧…… 108
記号・絵文字一覧…… 109
フレーム一覧…… 112
用途別ラベルフォーマット一覧…… 113
ナンバリングフォーマット一覧…… 116
テープ幅と行数・倍率一覧…… 116
各機能における使用可能テープ幅一覧…… 116
拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ…… 116
デザインロゴ内蔵データー覧…… 117
内蔵漢字一覧…… 119
仕様…… 124
別売品について…… 125
索引…… 126
保証・アフターサービスについて…… 127

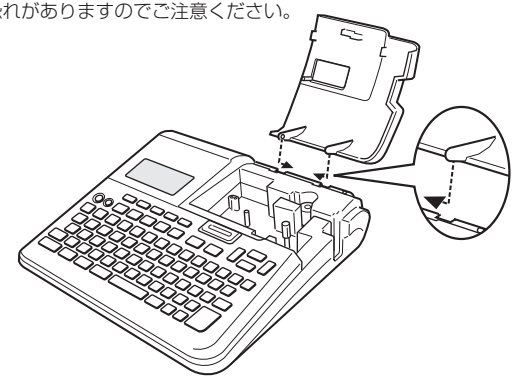
各部の名前とはたらき





■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。



本機の操作の流れ

ACアダプターの接続 9ページ

- **購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化、日時の設定をしてください。（10ページ）**
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

↓

テープカートリッジの取り付け 13ページ

↓

自由に入力して作る
フリーラベル　17、36ページ
フリーラベルの編集機能
37ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル
バーコードラベル、デザイン
ロゴなど　25、54、63ページ

↓

印刷する 18ページ

電源について

本機を使うときは、電源として指定のACアダプターを使います。
• ご使用前に、「安全上のご注意」（1 ～ 4ページ）を必ずご覧ください。

ACアダプターで使う

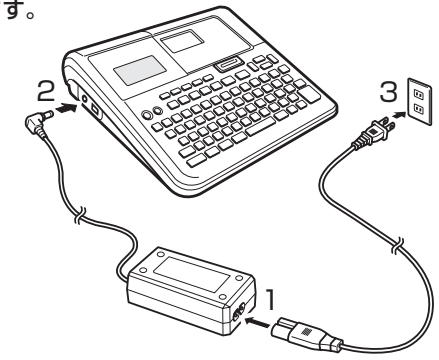
■取り付ける

重要
- 指定のACアダプター以外は使用しないでください。
- パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USBケーブルとACアダプターを接続してください。詳しくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 電源コードとACアダプターを接続します。

2 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。

3 ACアダプターをご家庭のコンセント< AC100V >に差し込みます。



■取り外す

重要
- 印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- USB ケーブルを接続している場合は、AC アダプターを取り外す前にパソコンと本機から USB ケーブルを抜き取ってください。
- 本機に登録したデータ（文字や文章など）は、ノートやパソコンなどに控えを取っておいてください。

1 コンセントから AC アダプターのプラグを抜きます。

2 本機の AC アダプター接続用端子から AC アダプターのプラグを抜きます。

3 AC アダプターから電源コードを抜きます。

重要 電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(切)を押します。

2 **[印刷]と[空白]をいっしょに押しながら、(入)を押します。「メモリー初期化？　実行／取消し」が表示されるまで、そのまま押し続けます。**

3 **[実行]を押します。**

4 **(へ)(ヘ)を押して、現在の日付や時刻の設定をします。(＜)(＞)で設定したい項目を選択することができます。**
- (ヘ)を押すと数字が減り、(へ)を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。

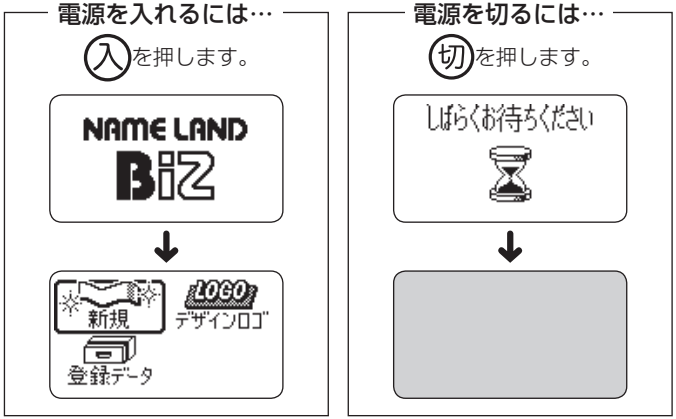
5 設定が終了したら実行を押します。

日付、時刻の設定は、後から変更することもできます。
日付、時刻の設定については、98 ページの「日付、時刻を設定する」をご覧ください。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。
ただし、本機にインストールされたデザインロゴのデータはメモリーの初期化をしても消えません。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは入を押すだけで本機を使うことができます。



• 画面の明るさを調整するときは、97 ページをご覧ください。

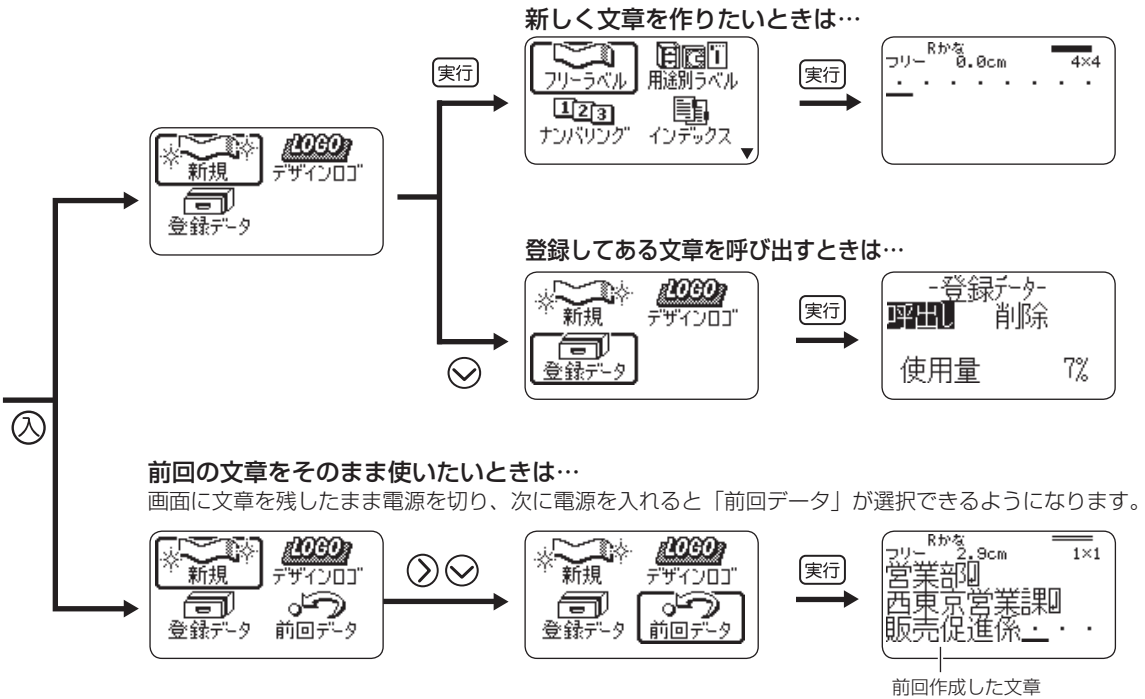
オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約 6 分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
再び本機を使うときは、入を押してください。
• 伝言板（60 ページ）を表示しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
• パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の 3 つがあります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る



- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→ 61 ページ）

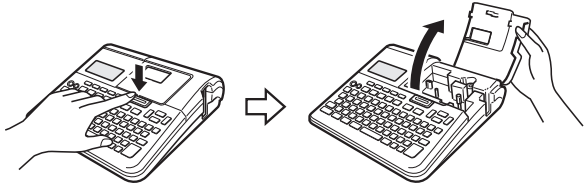
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。
・テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

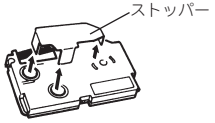
テープカートリッジを取り付ける

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(切)を押します。

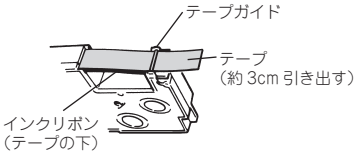
2 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**



3 **テープカートリッジについているストッパーを取り外します。**



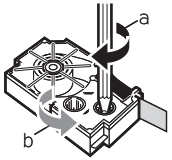
4 **テープとインクリボンの状態を確認します。**
- テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）
- テープの先がテープガイドを通っている
- インクリボンがたるんでいない



重要
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
- インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

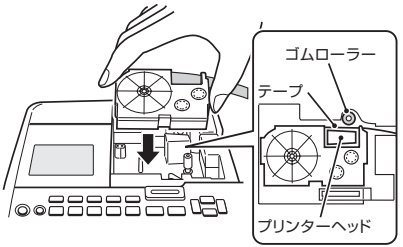
インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

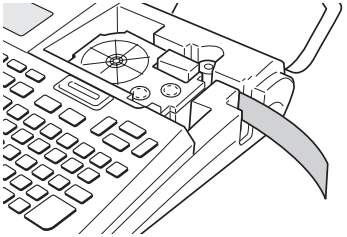
インクリボンがたるんでいたら、a のように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。b の方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。



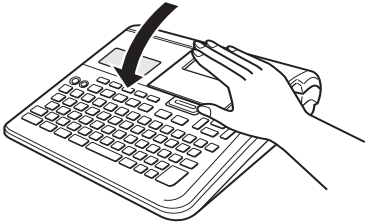
5 **テープカートリッジをセットします。**
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。





6 **テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。**



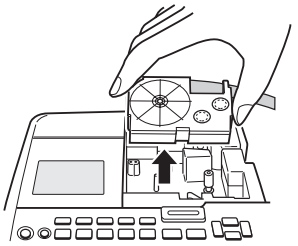
- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、㊀を押します。

2 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

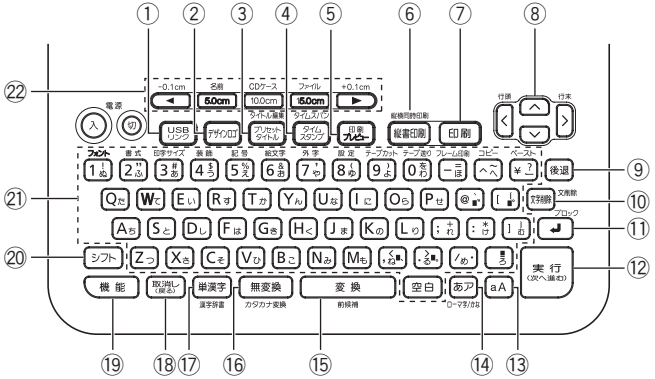
3 **テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。**
- 印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてからテープカートリッジを取り出してください。



重要
- 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、97 ページをご覧ください。

①	USB リンク	パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
②	デザインロゴ	デザインロゴを印刷するとき、パソコンからデザインロゴデータをインストールするときに押す。 「ラベル印刷」をしているときに デザインロゴ を押すと、［デザインロゴ］モードに切り替わる。
③	タイトル編集 プリセットタイトル	• よく使う登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。 • よく使う単語や文章を登録、編集するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
④	タイムスパン タイムスタンプ	• 日付、時刻を入力中の文章に挿入するときに押す。 • 保存期間、有効期限などの将来の日付、時刻を入力中の文章に挿入するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	印刷プレビュー	印刷結果を画面で見るときに押す。
⑥	縦横同時印刷 縦書印刷	縦書き印刷をするときに押す。 • 縦横同時印刷をするときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑦	印刷	印刷するときに押す。
⑧		• 文字が入る位置を示した＿（カーソル）や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 • 項目などを選択するときに押す。
⑨	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩	文字削除	カーソルの上の文字を消すときに押す。 • 入力中の項目の文章をすべて消すときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪	ブロック	• 改行するときに押す。 • 文章をブロックに分けるときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。（38 ページ）
⑫	実行	操作を進めるときに押す。
⑬	aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。（69 ページ）

⑭	あア ローマ字/かな	ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。 (69 ページ) • ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮	変換 前候補	ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 • 1つ前の変換に戻るとき（前候補）は、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑯	無変換 カタカナ変換	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 • 入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑰	単漢字 漢字辞書	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。 • 漢字辞書を使って漢字を入力するには、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。(73 ページ)
⑱	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑲	機能	キーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑳	シフト	• かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(70 ページ) • アルファベットを入力しているとき、1 文字だけ大文字(または小文字）を入れる場合に押す。(76 ページ)
㉑	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
㉒	(テープ長さダイレクト設定キー)	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 • フリーラベル以外では使用できません。

機能とシフトの操作には、以下の 2 つの方法があります。

1. 機能（シフト）を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2. 機能（シフト）を押しながら目的のキーを押す。

• 本書の操作説明は、「機能（シフト）を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を1ぬや実行などのように表記しています。

例 1ぬを押したあとに続けて実行を押すときの表記

↓

1ぬ実行と押します。

●本機のキーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能（「設定」や「カタカナ変換」など）を使うには、機能を押し、指を離してから機能と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例「設定」機能を使うときの表記

↓

機能を押し、指を離してから設定 8ゆを押します。

●操作手順の中で、「△▽◁▷を押して…」「△▽を押して…」「◁▷を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4 つまたは 2 つのキーすべてを押す必要はありません。

● 1 つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは取消しを押します。

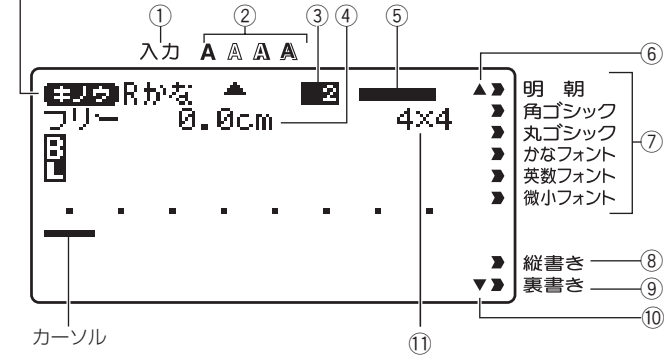
● 取消しを何回押しても希望の画面に戻らないときは、切を押して一度電源を切ります。入を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

• 画面の明るさを変えるときは、97 ページをご覧ください。

キノウ 機能 を押したとき表示 / **シフト** シフト を押したとき表示



①	入力できる文字の種類や入力方法を示す。(69、79 ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(85 ページ)
③	カーソルがあるブロックは何個目かを示す。(38 ページ)
④	いま作っているラベルの長さを示す。(43 ページ)
⑤	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(37 ページ)
⑥	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑦	書体(フォント)が何になっているかを示す。(81 ページ)
⑧	縦書きになっていることを示す。(39 ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す。(40 ページ)
⑩	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑪	文字のサイズを示す。(48 ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

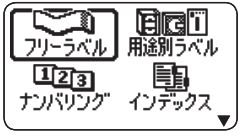
ラベルを印刷する

[印刷例]

1 入 を押して、電源を入れます。

• 右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります。(12 ページ)

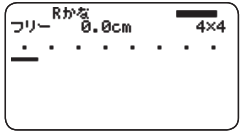
2 ∧∨<∨ を押して「新規」にし、実行 を押します。



3 ∧∨<∨ を押して作りたいラベルの種類を選び、実行 を押します。

ここでは「フリーラベル」を選びます。

• フリーラベルで入力できる文字数は、255 文字です。



4 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、20 ページをご覧ください。
- ひらがなを漢字に変換したときは、最後に[実行]を押して確定してください。

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 [印刷/プレビュー]を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押します。

その部分が止まります

[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは[取消し]を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

- ご使用前に、「安全上のご注意」の「オートテープカッターに注意する」（4 ページ）を必ずご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

重要 印刷する前に、以下の点にご注意ください。

- 印刷時の注意事項（21 ページ）を必ずご覧ください。
- 「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口（8 ページ）が物でふさがっていないこと」を確認してください。

1 文字を入力したら、[実行]を押します。

2 印刷 になっていることを確認して、[実行]を押します。

3 ◁▷を押して、印刷する枚数を指定します。

ここでは「1 枚」にします。

- ◁を押すと数字が減り、▷を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100 枚まで指定できます。0 枚を指定することはできません。

4 ▽を押します。

5 ◁▷を押して、カットモードを指定します。

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、21 ページをご覧ください。

6 実行を押します。

印刷が始まります。

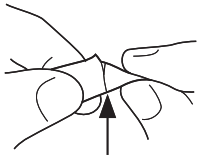
- 印刷を途中でやめるときは、取消しを押します。

ラベルを貼る

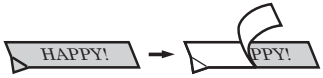
1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

●ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっくりとひねるようにして、テープを台紙からはがします。



●フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



- 一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

重要
- 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨が当たるもの
- 人や動物の体
- 他人の家の塀や電柱など
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは
- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

テープを空送りする

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

1 機能 0(テープ送り) わ **と押します。**

↓

テープが約 21mm 送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（42 ページ）、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 機能 9(テープカット) よ **と押して、テープをカットします。**

重要 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っぱったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する

1 **上の画面が表示されているときに〈〉〉を押して 終了 にし、実行 を 2 回押します。**

以下の画面に戻ります。

・「登録」については、61 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。（68 ページ）

1 あア を何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。
2 Eぃ Iに Gき Yん Oら Uな
3 変換 を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら 実行 を押します。

■「レポート」を入力します。

1 あア を何回か押して、画面左上に「R カナ」を表示させます。
2 Rす Eぃ Pせ Oら ¥? Tか Oら

・誤った文字を入力したときは、文字削除（78 ページ）や 後退（78 ページ）を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。

・文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」（68 ページ）をご覧ください。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。

重要

- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(8 ページ)
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、取消しを押して印刷を中止してください。
- テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

印刷とカットモード

カットモードについて（オートカッター）

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

- 下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

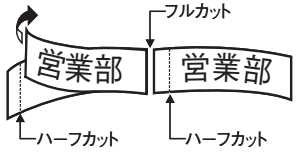
•自己粘着テープ •布転写テープ •インスタントレタリングテープ	**特殊テープ**
•マグネットテープ •反射テープ •アイロン布テープ	**カットしない**

■カットのしかたについて

カットのしかたには 2 つあります。

●ハーフカット

台紙はカットしないで、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。



- 「テープ幅の細い 3.5mm や 6mm テープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

●フルカット

台紙もシールもカットします。

■４つのカットモード

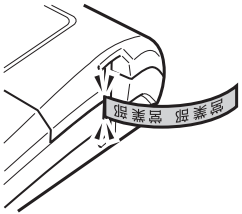
カットモードは４つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順 **5**（19 ページ）で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」（24 ページ）をご覧ください。
- 書式で「余白　送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。（20 ページ）
- テープの長さが下記のときは、テープカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどで切ってください。

余白小	余白中	余白大
約 28mm 以下	約 35mm 以下	約 44mm 以下

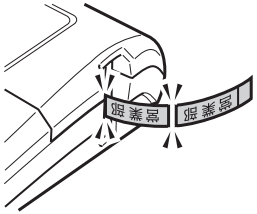
●通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることがありません。
- 先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。



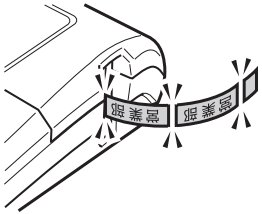
●切り離す

- ラベルごとにフルカットします。
  2 枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされています。

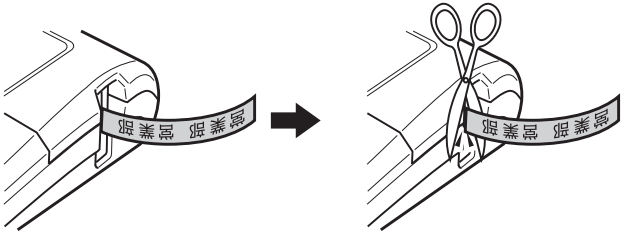


●特殊テープ

- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白　小」「余白　中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない
- ラベル間はカットしません。
- マグネットテープ･反射テープ･アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、機能を押し、指を離してから0(テープ送り)を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて

反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。

カットするときは、フルカット / ハーフカットはしないで、下記の手順に従ってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。

なお、本機のフルカット / ハーフカットで**反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープ**をカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがありま す。ご注意ください。

1 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする（42 ページ）またはカットモードで「カットしない」にする
2 印刷する
3 機能 0(テープ送り)と押して、テープ送りをする
4 **反射テープ、マグネットテープ**または**アイロン布テープ**を取り出し、ハサミなどを使ってカットする
- ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかた（フルカット／ハーフカット）と余白の長さは異なります。

カットモード		通常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットのタイミング ＼ 余白		先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット
余白小	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	16㎜	3㎜	3㎜	16㎜※1 5㎜※2	3㎜	3㎜	21㎜	3㎜	3㎜	21㎜	3㎜	3㎜
余白中	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	9㎜	10㎜	10㎜	9㎜※1 5㎜※2	10㎜	10㎜	21㎜	10㎜	10㎜	21㎜	10㎜	10㎜
余白大	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	無し	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	5㎜	19㎜	19㎜	5㎜※1 5㎜※2	19㎜	19㎜	–	19㎜	19㎜	–	19㎜	19㎜
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

※1：1枚目の印刷のとき

※2：2枚目以降の印刷のとき

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。

1 ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル..... 36 ページ
用途別ラベル..... 25 ページ
ナンバリング..... 28 ページ
インデックスラベル.... 30 ページ
バーコード..... 54 ページ
QR コード..... 57 ページ
拡大印刷..... 35 ページ

登録してあるデータを呼び出して使うときは（61 ページ）

前回作成したデータを使うときは（12 ページ）

2 文字を入力する（68 ページ）

3 文字を修飾する

書体（フォント）を変える（81 ページ）、文字を目立たせる（文字体）（85 ページ）

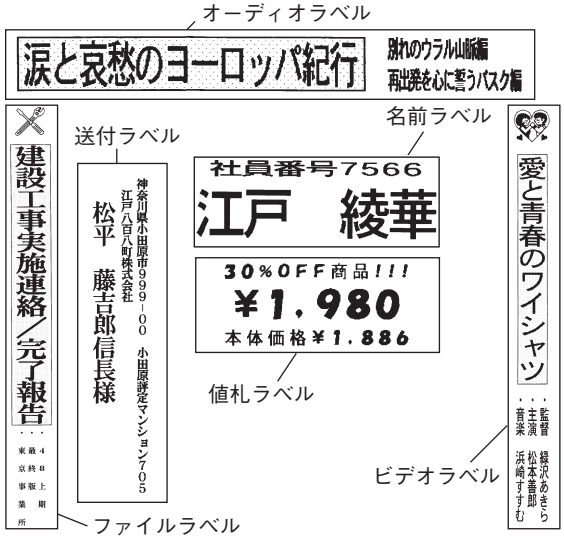
ラベルを印刷（18 ページ）・登録（61 ページ）・終了する

フォーマットを選んで作る（用途別ラベル）

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

・ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル



・ビデオラベル・オーディオラベル・名前ラベル・送付ラベル・ファイルラベル・値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

[印刷例]

（18mm 幅テープ / ファイル / ファイル背 / 大３）

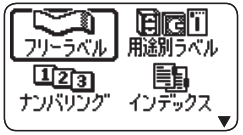
重要 113 ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

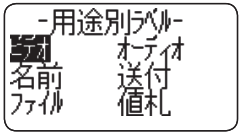
1 入を押して、電源を入れます。

・ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されます（12 ページ）。

2 ∧∨〈〉を押して「新規」を選び、実行を押します。



3 ∧∨〈〉を押して「用途別ラベル」を選び、実行を押します。

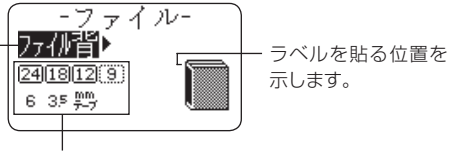


4 ∧∨〈〉を押して作成するラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。

フォーマット選択画面について

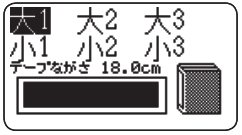
ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。



9 18 ･･･使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。
18 ･･･････最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。
6 ･･･････使用できないテープ幅は、囲まれません。

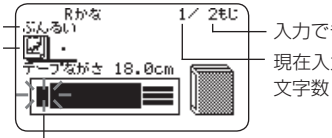
5 〈〉を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。



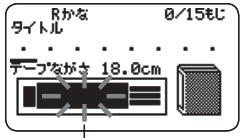
6 ▲▼◀▶を押してフォーマットを選び、実行を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」（113 ページ）をご覧ください。
ここでは「大 3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、実行を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、78 ページをご覧ください。



8 文字を入力し、実行を押します。

ここでは「タイトル」「コメント 1」「コメント 2」「コメント 3」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、機能を押し指を離してから装飾 4$ を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。

- ラベルデータを印刷するときは→ 18 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 61 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に機能を押し、指を離してから書式 2"ふ を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

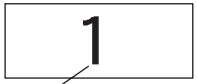
通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング）

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る（連番印刷）ことができます。

重要 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。

ナンバリングの種類

• フォーマット 1



ナンバー

• フォーマット 2

コメント（99 文字まで）　ナンバー

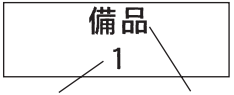
• フォーマット 3

ナンバー　コメント（99 文字まで）

• フォーマット 4

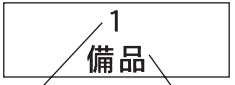
コメント 1（99 文字まで）　ナンバー　コメント 2（99 文字まで）

• フォーマット 5



ナンバー　コメント（99 文字まで）

• フォーマット 6



ナンバー　コメント（99 文字まで）

• 印刷するたびに、“ナンバー”が一つずつ繰り上がっていきます。

[印刷例]

備品No.15(総務管理)
備品No.16(総務管理)
備品No.17(総務管理)

「備品 No.15（総務管理）」～「備品 No.17（総務管理）」のラベルを印刷します。

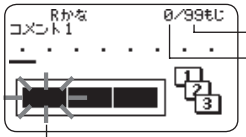
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、取消しを押して印刷を中止してください。

1 入を押して、電源を入れます。

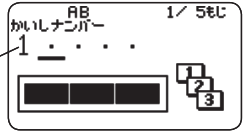
2 ^v<>を押して「新規」を選び、実行を押します。

3 ^v<>を押して「ナンバリング」を選び、実行を押します。

4 ^v<>を押してフォーマットを選び、実行を押します。
ここでは「4」を選びます。



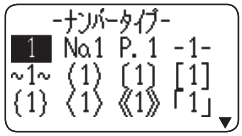
5 **「コメント 1」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「備品」と入力します。



6 **ナンバリングの先頭になる数字に変更し、実行を押します。**
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

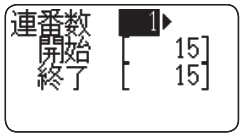
・先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5 桁まで入力できます。

7 **「コメント 2」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「(総務管理)」と入力します。



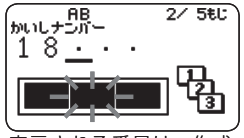
8 **◇◇◇◇を押してナンバリングの形を選び、実行を押します。**
ここでは「No.1」を選びます。

9 **◇◇で印刷を選び、実行を押します。**



10 **◇◇を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから実行を押します。**
ここでは、15、16、17 番を印刷するので、「3」を設定します。
・1 ～ 100 までを入力できます。
・直接数字を入力することもできます。

11 **◇◇を押してカットモードを設定し、実行を押します。**
・カットモードについて詳しくは、21 ページをご覧ください。
印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。
・ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。
・「長さオーバー 印刷できません」「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか?」と表示されたときは、105、106 ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

重要 ・テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

・ラベルデータを登録するときは→ 61 ページ

印刷の書式を設定したい
文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。
・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
・「余白」の設定をする
上記の設定をするには、文字入力中に機能を押し、指を離してから書式 2 ”ふ を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

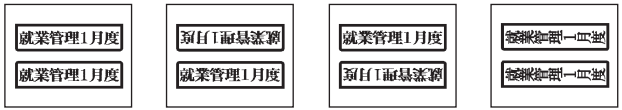
インデックスラベルを作る

ファイルを整理するのに便利なインデックスラベルを作ることができます。本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成することもできます。

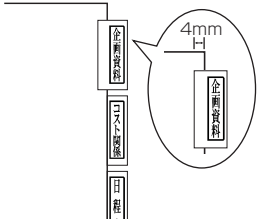
インデックスラベルの種類

インデックスラベルは、ファイリングの仕方に合わせて、方向別に以下の４種類を作ることができます。

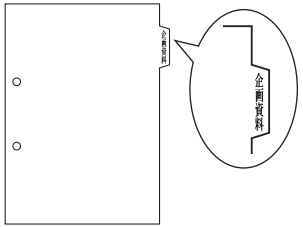
・横１　・横２　・横３　・縦



●書類に貼り付けた例（印刷方向：縦）



●仕切りカードの見出し山に貼り付けた例（印刷方向：縦）



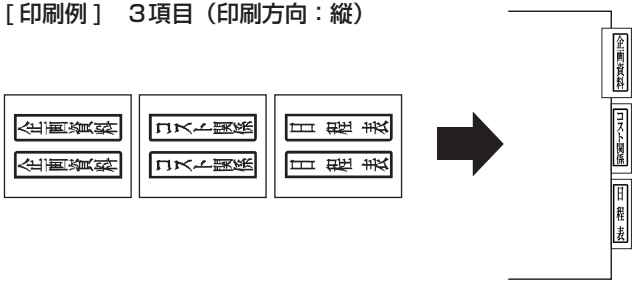
重要
- インデックスラベルが作成できるのは、24mm 幅テープのみです。必ず 24mm 幅のテープカートリッジをセットしてください。
- 書類に直接貼る場合には、ご使用中に抜け落ちないように書類に対して 4mm 程度の貼り付けをおすすめします。
- 仕切りカードの見出し山に貼る場合には、24mm 幅透明テープで、枠を付けないで印刷することをおすすめします。
- インデックスラベルの表面と裏面は、同じ内容が印刷されます。

重要 インデックスラベルの印刷では、指定項目分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、取消しを押して印刷を中止してください。

自由に入力して作る（ユーザー作成）

文字を自由に入力して作成します。一度に最大で６項目まで作成・印刷することができます。

［印刷例］　３項目（印刷方向：縦）

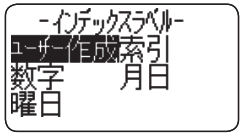


1 入を押して、電源を入れます。

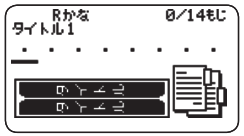
2 ^v<>を押して「新規」を選び、実行を押します。

3 ^v<>を押して「インデックス」を選び、実行を押します。

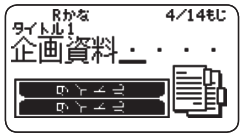
4 ◁▷を押して印刷方向を選び、実行を押します。
ここでは、「縦」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。



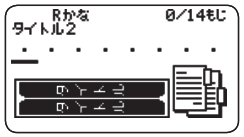
5 △▽◁▷を押して「ユーザー作成」を選び、実行を押します。
最初の項目の入力画面が表示されます。



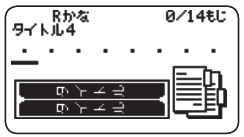
6 文字を入力します。
ここでは「企画資料」と入力します。



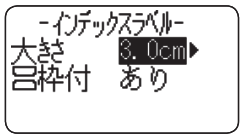
7 実行を押します。
次の項目の入力画面が表示されます。



8 手順 6 ～ 7 を繰り返して３項目まで入力し、実行を押します。
４番目の項目の入力画面が表示されます。

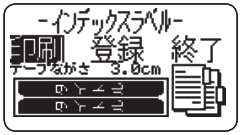


9 実行を３回押します。
印刷の大きさ（3.0cm/4.5cm）と、枠の「あり／なし」の設定画面が表示されます。

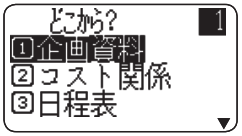


10 ◁▷を押して、印刷の大きさを選びます。
・ファイルの仕切りカードの見出し山に貼るときなど、枠を付けないで印刷したい場合には、▽を押して、◁▷で「枠付 **なし** 」を選びます。
ここでは、このままの設定とします。

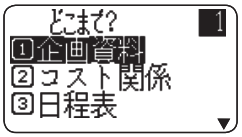
11 実行を押します。



12 ◁▷を押して **印刷** を選び、実行を押します。
印刷範囲の選選択画面が表示されます。



13 △▽を押して印刷する最初の項目を選び、実行を押します。
ここでは、「企画資料」を選びます。
・数字キーで番号を入力して選択することもできます。



14 △▽を押して印刷する最後の項目を選びます。
ここでは、「日程表」を選びます。

15 実行を押します。

16 ◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。
・カットモードについて詳しくは 21 ページをご覧ください。
印刷が開始されます。

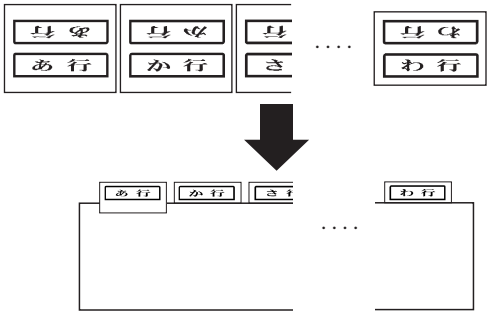
重要 テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

・ラベルデータを登録するときは→ 61 ページ

定型句を使って作る

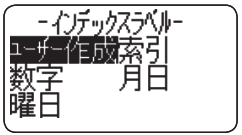
本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成します。定型句は、「索引」「数字」「月日」「曜日」の４つの分類から選ぶことができます。定型句の詳細や最大印刷枚数などについては、34 ページをご覧ください。

[印刷例]「あ行」～「わ行」（10 項目／印刷方向：横2）



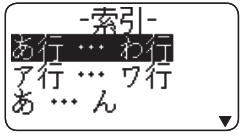
1 30 ページの手順 1 ～ 3 と同様な操作で「インデックス」を選び、実行を押します。

2 ◁▷を押して印刷方向を選び、実行を押します。
ここでは、「横2」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。



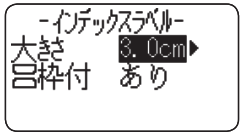
3 **△▽◁▷を押して定型句の分類を選び、実行を押します。**

ここでは、「索引」を選びます。
印刷パターンの選択画面が表示されます。



4 **△▽を押して印刷パターンを選び、実行を押します。**

ここでは、「あ行 … わ行」を選びます。
印刷の大きさ（3.0cm/4.5cm）と、枠の「あり／なし」の設定画面が表示されます。



5 **◁▷を押して、印刷の大きさを選びます。**

・ファイルの仕切りカードの見出し山に貼るときなど、枠を付けないで印刷したい場合には、▽を押して、◁▷で「枠付 なし 」を選びます。

ここでは、このままの設定とします。

6 **実行を押します。**

7 **これ以降の操作は、31 ページの手順 12 ～ 16 と同様です。**

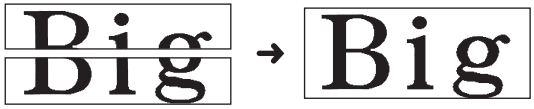
・定型句は、初期フォントで設定されている書体で印刷されます。初期フォントの設定については、83 ページの「電源を入れたときの書体を決める」をご覧ください。

インデックスラベル「定型句」一覧

分類	表示	最大印刷枚数	1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目	6枚目	7枚目	8枚目	9枚目	10枚目	11枚目	12枚目	…	26枚目	…	31枚目	…	46枚目	…	99枚目
索引	あ行…わ行	10枚	あ行	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行	ら行	わ行	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	ア行…ワ行	10枚	ア行	カ行	サ行	タ行	ナ行	ハ行	マ行	ヤ行	ラ行	ワ行	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	あ…ん	46枚	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	…	は	…	ま	…	ん	−	−
	ア…ン	46枚	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	…	ハ	…	マ	…	ン	−	−
	A…Z	26枚	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	…	Z	−	−	−	−	−	−
	a…z	26枚	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	…	z	−	−	−	−	−	−
数字	1…99	99枚	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	…	26	…	31	…	46	…	99
	No.1…No.99	99枚	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	…	No.26	…	No.31	…	No.46	…	No.99
	1〜…90〜	10枚	1〜	10〜	20〜	30〜	40〜	50〜	60〜	70〜	80〜	90〜	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	No.1〜…No.90〜	10枚	No.1〜	No.10〜	No.20〜	No.30〜	No.40〜	No.50〜	No.60〜	No.70〜	No.80〜	No.90〜	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
月日	1月…12月	12枚	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	−	−	−	−	−	−	−	−
	Jan.…Dec.	12枚	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	−	−	−	−	−	−	−	−
	1月度…12月度	12枚	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	−	−	−	−	−	−	−	−
	1日…31日	31枚	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	…	26日	…	31日	−	−	−	−
曜日	日曜日…土曜日	7枚	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	Sun.…Sat.	7枚	Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

大きなラベルを作る（拡大印刷）

本機では、24mm 幅のテープまで使用できますが、それよりも大きなラベルも作ることができます。文字を何枚かのテープに分けて印刷し、それを並べて貼って、1 枚のラベルにします。



文字を 2 枚のテープに分けて印刷

2 枚を並べて貼ると、1 枚のラベルが完成

重要 12mm 幅以上のテープカートリッジをセットしてください。

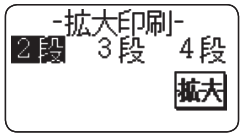
［印刷例］ Big （12mm 幅テープ /2 段）

1 ㊉を押して、電源を入れます。

2 ㊤㊦㊧㊨を押して「新規」を選び、実行を押します。

3 ㊤㊦㊧㊨を押して「拡大印刷」を選び、実行を押します。

4 文字を入力し、実行を押します。

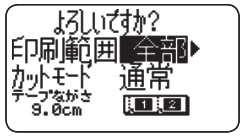


5 ㊧㊨を押して拡大する文字の大きさを設定し、実行を押します。

2 段とは、「2 枚のテープに分けて印刷する」という意味です。
ここでは「2 段」を選びます。

テープ幅	文字の大きさ		
	2 段	3 段	4 段
12mm	24mm	36mm	48mm
18mm	30mm	45mm	60mm
24mm	30mm	45mm	60mm

6 ㊧㊨で印刷を選び、実行を押します。



7 ㊧㊨を押して何段目を印刷するかを設定し、㊦を押します。
ここでは「全部」を選びます。

8 ㊧㊨を押してカットモードを設定し、実行を押します。
印刷が始まります。

- カットモードについて（21 ページ）
- 文字数の多い大きなラベルを印刷する場合、1 本のテープですべての段を印刷できない場合があります。テープの残量を確認しながら 1 段ずつ印刷することをおすすめします。印刷の途中でテープが終了した場合は、取消しを押して印刷を終了し、テープを交換した後、再度、印刷操作をしてください。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”の表示になって、印刷を一時停止することがあります。
  プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。

・“印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

2 段目の印刷が終わったら、この画面になります。

テープを 2 段並べて貼ります

・18mm 幅テープ、24mm 幅テープに印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。18mm 幅テープ、24mm 幅テープに印刷するときは、余白部分を重ねて貼ることができる「透明テープ」をお使いになることをおすすめします。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に 機能 を押し、指を離してから 書式 2 を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

自由に入力して作る（フリーラベル）

ここでは自由に入力してラベルを作る（フリーラベル）方法について説明します。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

1 入 **を押して、電源を入れます。**

2 ∧∨〈〉**を押して「新規」にし、** 実行 **を押します。**

3 ∧∨〈〉**を押して「フリーラベル」を選び、** 実行 **を押します。**

4 **自由に文字を入力します。**

・フリーラベルの作り方について詳しくは 17 ページをご覧ください。

2 行以上のラベルを作る

2 行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm 幅テープでは、2 行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1 行
6mm	2 行
9mm	3 行

テープの幅	最大行数
12mm	5 行
18mm	8 行
24mm	8 行

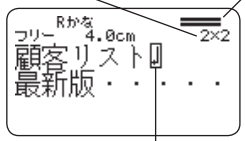
- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。**（ジャストフィット印刷）**
- 文字の大きさを自由に決めた場合（48 ページ）も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]　顧客リスト
最新版

1 **1 行目を入力します。**
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 **↵を押します。**

3 **2 行目を入力します。**
ここでは「最新版」と入力します。



文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。

改行マークが入ります（画面だけの印なので印刷されません）

作っているラベルのレイアウト（イメージャー表示）線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージで表します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、↵を押します。
- 改行を取り消すときは、文字削除を押してマークを削除します。後退を押しても「↵」マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/8」というような表示になります。これは、「行数は 8 行で、カーソルが合っているのは 5 行目」という意味です。
  微小フォントでの印刷について→ 84 ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー　印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→ 18 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 61 ページ

こんなラベルを作るには？

ジャストフィット印刷（48 ページ）

顧客リスト
最新版
営業部

顧客リスト最新版
営業部

顧客リスト↵
最新版BL
営業部

ブロックマークを入れます（38 ページ）

顧客リスト最新版↵
営業部

文字の大きさを行ごとに決めます（50 ページ）

文章をブロックに分ける

下の印刷例の「営業計画書」「国内営業部　営業第三課」は、それぞれ独立した文字のかたまりです。この文字のかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作ることができます。

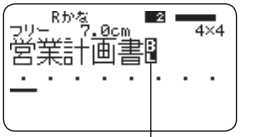
[印刷例]

・2 行（37 ページ）
・縦書き（39 ページ）

[印刷例]「営業計画書」「国内営業部　営業第三課」を別々のブロックに分ける

1 **最初のブロックの文字を入力します。**
ここでは「営業計画書」と入力します。

2 **機能を押し、指を離してから↵を押します。**
「営業計画書」が 1 つのブロックになります。



ブロックマーク
（画面だけの印なので印刷されません）

3 **次のブロックの文字を入力します。**
ここでは「国内営業部」と入力します。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかを表します

- ブロックマークを消すときは、「B L」の位置にカーソルを合わせ、文字削除を押します。
  後退を押してもB Lマークを削除することはできません。
- ブロックに分けることができるのは、16 個までです。

4 **続けて文字を入力します。**
ここでは↵「営業第三課」と入力します。

- 2 行のラベルについては 37 ページをご覧ください。
- 縦書きの設定については 39 ページをご覧ください。

文章を完成させたあとでブロックに分けるには
文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けたい位置にカーソルを移動させ、機能を押し、指を離してから↵を押します。

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ·文字間隔·文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。
ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ブロックごとに書式を決める

ブロック（38 ページ）ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 方向　方向
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。 ➜ 46 ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。 文字間隔　文 字 間 隔
ブロック長	ブロックの長さを決めます。 ➜ 43 ページ参照

■設定する

1 **文章を入力し、ブロックに分けます。**

2 **書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。**
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

3 **機能を押し、指を離してから書式 2ふを押します。**
ブロックが 1 つだけの場合には手順 **6** に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **◁▷を押して「ブロック書式」を選び、実行を押します。**

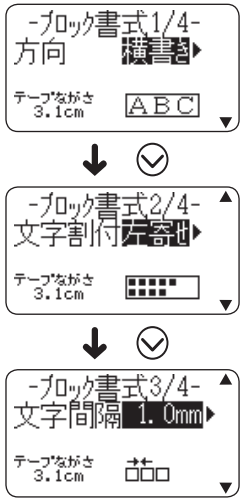
5 **◁▷を押して「このブロックのみ」を選び、実行を押します。**

- すべてのブロックを共通の書式にするときは◁▷を押して「全ブロック」にします。

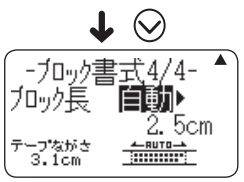
6 **各項目を設定します。**

- △▽を押して設定項目を選びます。
- ◁▷を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内　容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	ブロックの中での文字のバランス（左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）を設定する➜ 46 ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔（0.0 ～ 31.9mm）を指定する（◁▷を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる） • 「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。



設定項目	内　容
ブロック長	• 自動： 文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する • ブロックの長さを任意に設定するときは〈〉を押して「固定」を選ぶ ➜43 ページ参照

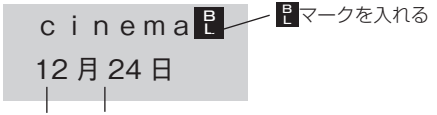


7 各項目を設定したら、実行を押します。

こんなラベルを作るには…

[印刷例]

（18mm 幅テープ）



記号の入力について詳しくは、77 ページをご覧ください。

① **「12 月 24 日」のブロックにカーソルを合わせる。**

② 機能 **を押し、指を離してから** 書式 2 ふ **を押して、「ブロック書式」➜「このブロックのみ」➜「縦書き」とする。**

↓

印刷する

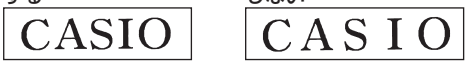
文章全体の書式を決める

文章全体の書式を決めます。

ブロックで区切られた文章であっても、ブロックには関係なく文章全体が対象になります。

■設定できる内容

文章全体の書式では、次のような設定ができます。

裏書き	 • 布転写テープカートリッジ（別売）を使用してハンカチやＴシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。 アイロン布テープ（別売）を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。 • テープ色が透明なテープカートリッジ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
斜め	文字を斜めに印刷するときに選びます。 **しない**　**する**
プロポーショナル	プロポーショナルとはアルファベット・数字に適した文字間隔のことです。アルファベット・数字が入った文章のときは「する」にすると、より美しく仕上がります。 **する**　**しない** 

スムージング	印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにするかしないかを選びます。 する しない
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選びます。 密着 普通 広い
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選びます。 ➔42 ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。 ➔44 ページ参照
ブロック割付	ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 ➔47 ページ参照

■設定する

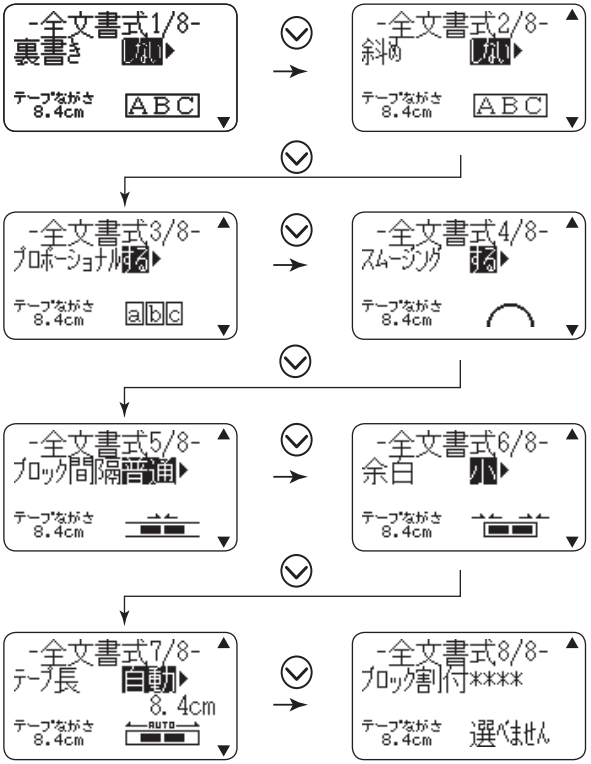
1 **文字を入力します。**

2 **機能を押し、指を離してから 書式 2 ふ を押します。**
ブロックが 1 つだけの場合には手順 **4** に進んでください。ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

3 **◁▷を押して全文書式を選び、実行を押します。**

4 **各項目を設定します。**
- △▽を押して設定項目を選びます。
- ◁▷を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内　容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	する　：アルファベット･数字に適した文字ピッチに調整する しない：アルファベット･数字の文字ピッチが、かな･漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
スムージング	文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選ぶ➔42 ページ
テープ長	・自動：文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する ・ラベル全体の長さを任意に設定するときは、◁▷を押して「固定」を選ぶ➔44 ページ
ブロック割付	ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ➔47 ページ ・テープ長さを「固定」にしたときのみ有効 （左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）



5 各項目を設定したら、実行を押します。

余白について

ラベルの前後に付くスペースを**余白**といいます。
次の３種類の余白を選べます。

余白小

余白中

余白大

重要 テープの長さが短い（余白小のとき：約 28mm、余白中のとき:約 35mm、余白大のとき:44mm）場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。

送り無

- 「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- 「送り無」と設定したときは、テープは自動的にはカットされません。テープをカットするときは、機能を押し、指を離してからテープカット 9よ を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の 3 つがあります。

- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する（ブロック長固定）。
- ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。
- CD ／ DVD のケース・ファイル用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長さダイレクト設定キー）。

・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

ブロックの長さを設定する（ブロック長固定）

ブロック（38 ページ）の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

1 **文字を入力し、ブロックに分けます。**

・ブロックの分け方（38 ページ）

2 **長さを決めるブロックにカーソルを移動します。**
そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。

3 **機能を押し、指を離してから 書式 2ふ を押します。**
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **6** に進んでください。

4 **〈〉を押して ブロック書式 を選び、実行を押します。**

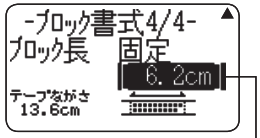
5 **〈〉を押して このブロックのみ を選び、実行を押します。**

・すべてのブロックを共通の書式にするときは〈〉を押して 全ブロック にします。

6 **∧∨を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。**

7 **〈〉を押して、「ブロック長 固定 」にします。**

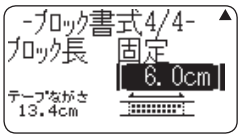
8 **∨を押します。**



数値が反転します

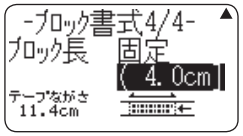
9 **数値キー、または〈（減）・〉（増）を押して、ブロックの長さを設定します。**

・直接数字を入力することもできます。
・ブロックの長さと入力されている文字により、次のようになります。



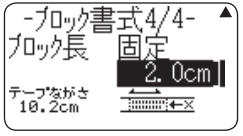
[6.0cm]
↑
指定通りに印刷

営業部



(4.0cm]
↑
文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

営業部



2.0cm]
↑
指定した長さより長く印刷

営業部

10 実行を押します。

イメージャー表示について

「ブロック長 固定」を選ぶと、画面右上のイメージャー表示は次のようになります。

指定通りの長さで印刷できる	指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる	指定の長さより長く印刷される*
[▬▬]	[▬▬]	▬▬]

* 文字が印刷方向に 50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

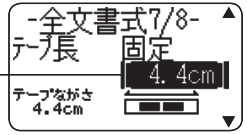
1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから 書式 2″ふ を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **4** に進んでください。

3 ◁▷を押して 全文書式 を選び、実行を押します。

4 △▽を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 ◁▷を押して、「テープ長 固定 」にし▽を押します。



数値が反転します

6 数値キーまたは◁（減）・▷（増）を押して、ラベルの長さを設定し、実行を押します。

- 直接数字を入力することもできます。
- 入力されている文字に合わない長さにすると、「長さエラー」となり、次のような表示になります。

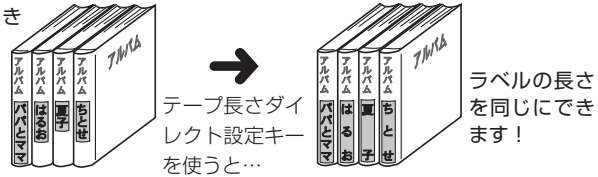
[10.5cm]
↑
指定通りに印刷

10.4cm]
↑
指定したテープ長より長くなって印刷

CDケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する（テープ長さダイレクト設定キー）

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CD や DVD のケース、ファイル用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定しないとき



テープ長さダイレクト設定キーを使うと…

ラベルの長さを同じにできます！

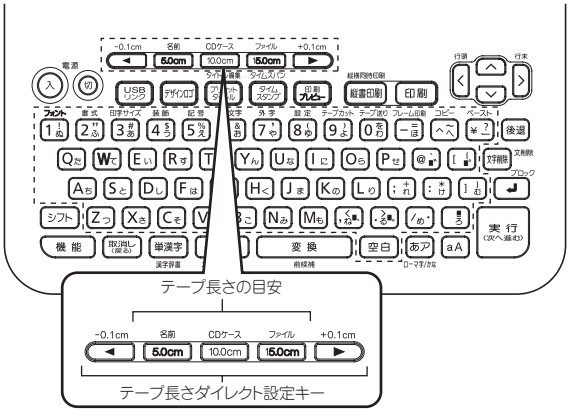
重要

- ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」でしてください。テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、設定した値よりも長くなることがあります。
- テープ長さダイレクト設定キーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「ブロック割付：均等」に設定されます（ブロック長が固定されるのは、ブロックが 1 つのときだけです）。
- フリーラベル以外では、テープ長さダイレクト設定キーは無効となります。

設定できる長さ

テープ長さダイレクト設定キー	適したもの
15.0cm	ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CD・DVD ケースなど
5.0cm	名前シールなど

- 1mm 単位で長さを調整することもできます。



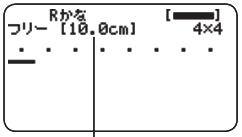
設定する

［例］CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

1 **10.0cm を押します。**

+0.1cm ▶ を押すと長くなり、−0.1cm ◀ を押すと短くなります。

- 文字入力はラベルの長さを設定する前でも設定したあとでも構いません。



長さが 10.0cm に変わります。

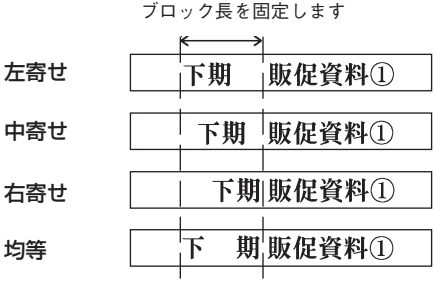
文章のバランスを整える（割付）

文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

［例］ 「下期」のバランスを整えます。



1 文字を入力し、ブロックに分けます。

・ブロックの分け方（38 ページ）

2 割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、機能を押し、指を離してから書式 2ふ を押します。

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **5** に進んでください。

3 ＜＞を押して**ブロック書式**を選び、実行を押します。

4 ＜＞を押して**このブロックのみ**を選び、実行を押します。

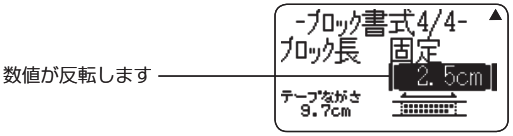
5 ∧∨を押して「文字割付」の設定画面にします。

6 ＜＞を押して、割付の種類を表示させます。

＜＞を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ**と割付の種類が変わります。

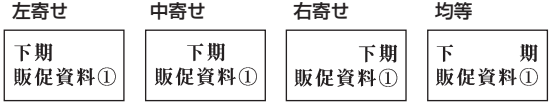
7 ∧∨を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。

8 ＜＞を押して「ブロック長 **固定**」にし、∨を押します。



9 数値キー、または＜（減）・＞（増）を押して、元のブロック長より長い数値にし、実行を押します。

2 行以上の文章のときは、「ブロック長　自動」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。



ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ

均等

中寄せ

右寄せ

重要 ブロックの割付は、「テープ長　固定」と設定されているときのみ有効です。

1 **文字を入力し、ブロックに分けます。**

・ブロックの分け方（38 ページ）

2 **機能を押し、指を離してから 書式 2ふ を押します。**
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **4** に進みます。

3 **◁▷を押して 全文書式 を選び、実行を押します。**

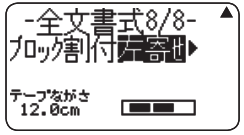
4 **△▽を押して、「テープ長」を画面に表示させます。**

5 **◁▷を押して、「テープ長　固定」にし、▽を押します。**

数値が反転します

6 **数値キー、または◁（減）・▷（増）を押して、希望の数字（ラベルの長さ）にします。**
元の長さより長い数値にします。

7 **▽を押して、「ブロック割付」の設定画面にします。**



8 **◁▷を押して、希望の割付の種類を表示させ、実行を押します。**
◁▷を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せ と割付の種類が変わります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです**（ジャストフィット印刷）**。
ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の２つの方法で決めることができます。
- **文字単位で大きさを決める**
- **行単位で大きさを決める**

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1 × 1」～「5 × 8」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧 116 ページ）。

1 × 1
禁煙

2 × 3
禁煙

4 × 4
禁煙

5 × 6
禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1 × 2 と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1 × 2（横書き）
終日禁煙

1 × 2（縦書き）

［例］ 「終日禁煙」の「終日」を１×３にする

1 **文字を入力します。**

2 **機能を押し、指を離してから 3 #あ（印字サイズ）を押します。**

3 **◁▷を押して印字倍率を選び、実行を押します。**

4 **◁▷を押して文字単位を選び、実行を押します。**

5 **縦の倍率の数値が反転表示されていることを確認します。**

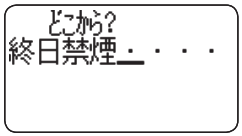
6 **△▽を押して、「縦」の倍率を設定します。**
ここでは縦倍率を「1」にします。
- 直接数字を入力することもできます。
- 不適当な倍率を入力しようとすると、「ピッ」とブザーがなり、入力できません。

7 **▷を押して、「横」の倍率数値を反転させます。**

・数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。

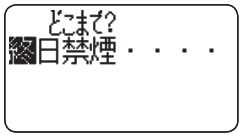
8 **△▽を押して「横」の倍率を設定し、実行を押します。**

ここでは横倍率を「3」にします。



9 **◁▷を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**

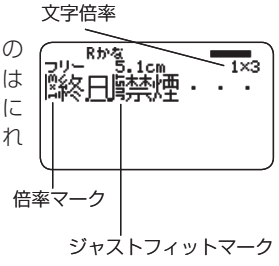
ここでは「終」を指定します。



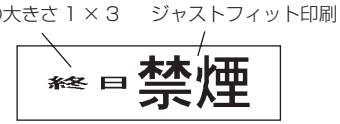
10 **◁▷を押して大きさを変える最後の文字を選び、実行を押します。**

ここでは 終日 にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。
倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。
ジャストフィットマーク：
自動的に付きます。このマークより後ろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



・倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されますが、印刷されません。
・文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを文字削除で削除します。
・倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。
ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。
・ブロックを超えて、倍率の範囲指定をすることはできません。



行単位で大きさを決める（フォーマット選択）

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープカートリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット		24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
1 行	A		1 × 1 倍	1 × 1 倍	1 × 1 倍
	B		2 × 2 倍	2 × 2 倍	2 × 2 倍※
	C		3 × 3 倍	3 × 3 倍※	—
	D		4 × 4 倍	—	—
	E		5 × 5 倍※	—	—
2 行	A		1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—
	B		1 × 1 倍 2 × 2 倍	—	—
	C		2 × 2 倍 1 × 1 倍	—	—
	D		2 × 2 倍※ 2 × 2 倍※	—	—
	E		1 × 1 倍 3 × 3 倍※	—	—
	F		3 × 3 倍※ 1 × 1 倍	—	—
3 行	A		1 × 1 倍 1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—
	B		1 × 1 倍 1 × 1 倍 2 × 2 倍※	—	—
	C		1 × 1 倍 2 × 2 倍※ 1 × 1 倍	—	—
	D		2 × 2 倍※ 1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—

※フレーム印刷時は、小さくなります。

重要

- 6mm 幅、3.5mm 幅のテープは行単位で大きさを決めることはできません。
- 4 行以上の場合は、行単位で大きさを決められません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

［例］

営業2課
西東京地区

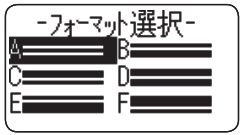
1行目：1×1倍
2行目：3×3倍
（2行・フォーマットE 18mm幅テープ）

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから印字サイズ 3 #あ を押します。

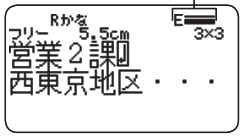
3 ◁▷を押して**印字倍率**を選び、実行を押します。

4 ◁▷を押して**行単位**を選び、実行を押します。



5 △▽◁▷を押してフォーマットを選び、実行を押します。

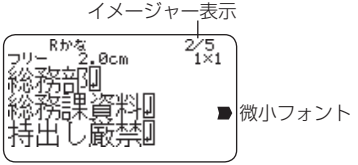
選んだフォーマット



次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。
- 行数を変更したとき
- 文字単位で文字の大きさを指定したとき（48ページ）

微小フォントについて

●行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。
●このとき、画面右の「■ 微小フォント」が点灯します。
●フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。



- イメージャー表示については、「2行以上のラベルを作る」の手順**3**（37ページ）をご覧ください。

●微小フォントでは、次のような特徴があります。
- フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。
- プロポーショナルの設定は、無効です（「しない」になります）。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。
フレームの一覧は 112 ページをご覧ください。

重要 3.5mm 幅テープにフレームを付けることはできません。

[印刷例]

（18mm 幅テープ／フレーム番号= 52）

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから フレーム印刷 一覧 を押します。

3 ∧∨〈〉を押して使うフレームを選び、実行を押します。
ここでは を選びます。

4 〈〉で 印刷 を選び、実行を押します。

重要 印刷するときは、21 ページの注意事項をご覧ください。

5 数字キー（または〈〉）を押して印刷枚数を設定し∨を押します。
1 ～ 100 枚まで設定できます。

6 〈〉を押してカットモードを設定し実行を押します。
印刷が開始されます。
- カットモードについて（21 ページ）
- 書式で「斜め する」と設定してあっても、フレーム付き印刷では標準で印刷されます。
- 「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	6 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（18 ページ「印刷する」の手順 **1** の画面）表示中に縦書印刷を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷

縦横同時印刷

縦書き（1 枚目）、横書き（2 枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、縦書印刷や機能 縦横同時印刷 縦書印刷は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（39 ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 **文字を入力します。**

2 **縦書印刷を押します。**
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、機能を押し、指を離してから縦横同時印刷 縦書印刷を押します。

重要 印刷するときは、21 ページの注意事項をご覧ください。

3 **数字キー（または◁▷）を押して印刷枚数を設定し、▽を押します。**
1 ～ 100 枚まで設定できます。

- ブロック書式（39 ページ）で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は縦書印刷で印刷すると、すべて縦書きになります。

4 **◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。**
印刷が開始されます。

- カットモードについて（21 ページ）

■「平成 26 年 9 月」、「'14 年 9 月」などのラベルの作り方

[印刷例]

- 「26」や「'14」などは、記号一覧（109 ページ）の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、77 ページをご覧ください。
- 現在の日付や時刻を入力するタイムスタンプ機能や、有効期限などの将来の日付や時刻を入力するタイムスパン機能を使用した場合には、そのまま縦書きで印刷するだけで上の例のようなラベルを簡単に作ることができます。
- タイムスタンプ（91 ページ）
- タイムスパン（91 ページ）

バーコードラベルを作る

バーコードラベルを作ることができます。

バーコードのタイプ

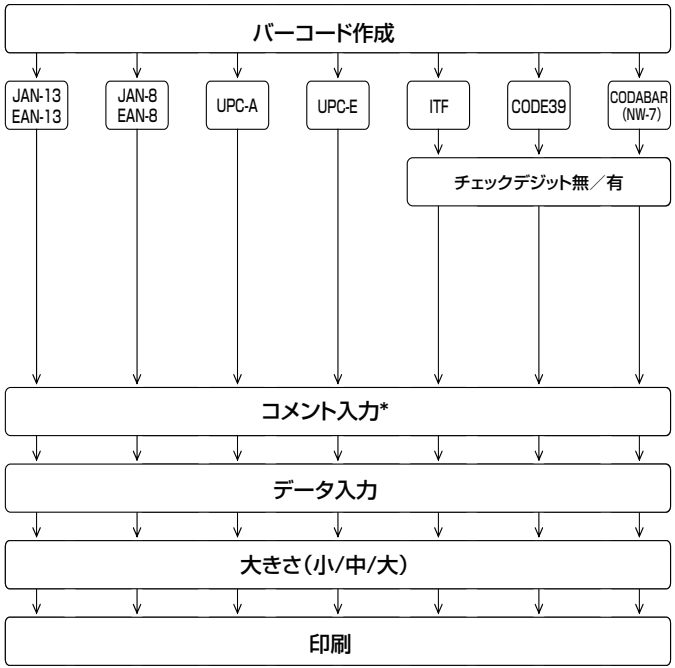
（1）EAN 系
　　JAN-13（日本）/EAN-13（ヨーロッパ）
　　JAN-8（日本）/EAN-8（ヨーロッパ）
　　UPC-A（アメリカ）
　　UPC-E（アメリカ）
（2）ITF
（3）CODE39
（4）CODABAR(NW-7)

重要
- 12mm 幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- バーコードの上部にコメントを付けることができます（60 文字まで）。
- 印刷したバーコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
  - 印刷濃度を薄くする（98 ページ）
  - 大きく印刷する（55 ページの操作 **7** で設定）
  - カットモードを「特殊テープ」または「カットしない」にする（21 ページ）
- バーコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
  - ● 白テープに黒文字（WE）
  - ● 白テープに青文字（WEB）
  - ● 黄色テープに黒文字（YW）
    - （　）内はテープの型番です。

［印刷例］

（18mm 幅のテープカートリッジを使用）

■バーコードラベル作成の流れ

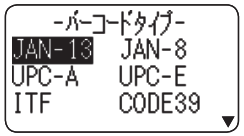


＊コメントを入力しないときは、そのまま 実行 を押して次に進んでください。

1 電源を押して、電源を入れます。

2 ^v<>を押して「新規」を選び、実行を押します。

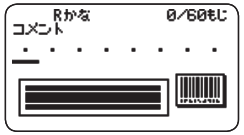
3 ^v<>を押して「バーコード」を選び、実行を押します。



4 ^v<>を押してバーコードのタイプを選び、実行を押します。

ここでは「JAN-13」を選びます。

- バーコードタイプを ITF、CODE39、CODABAR としたときは、この後にチェックデジットの有無を選び、実行を押します。



5 コメント（0 ～ 60 文字）を入力し、実行を押します。

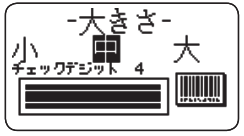
ここでは「XR-18WE」と入力します。

- コメントを入力しない場合は、そのまま実行を押します。

6 データ（12 桁の数字）を入力し、実行を押します。

ここでは「497185012319」と入力します。

- データ入力画面ではキーボードからのみの入力になります。



7 <>を押してバーコードラベルの大きさを選び、実行を押します。

ここでは「中」を選びます。

- 大きくするほどテープの長さは長くなります。

8 <>を押して印刷を選び、実行を押します。

9 数字キー（または<>）を押して印刷枚数を設定し、vを押します。

1 ～ 100 枚まで設定できます。

10 <>を押してカットモードを設定し、実行を押します。

印刷が開始されます。

- カットモードについて（21 ページ）
- ラベルデータを登録するときは（61 ページ）
- 「長さオーバー　印刷できません」と表示されたときは（105 ページ）

バーコードの仕様

バーコード	チェックデジット ※1	印刷される桁数 ※3	入力する桁数 ※4	自動的に付く桁数		入力文字種 ※8
					チェックデジット※1	
JAN-13 EAN-13	有	13桁	12桁	—	1桁	数字0～9
JAN-8 EAN-8	有	8桁	7桁	—	1桁	数字0～9
UPC-A	有	12桁	11桁	—	1桁	数字0～9
UPC-E	(有) ※2	6桁	6桁	—	—	数字0～9
ITF	無	4～22桁	4～22桁 偶数のみ ※5	—	—	数字0～9
	有	4～22桁	3～21桁 奇数のみ ※6	—	1桁	
CODE39	無	4～22桁	2～20桁	2桁※7	—	数字0～9 アルファベット A～Z 記号 「–」「.」「空白」 「$」「/」「+」「%」
	有	4～22桁	1～19桁	2桁※7	1桁	
CODABAR (NW-7)	無	4～22桁	4～22桁	—	—	数字0～9 記号 「–」「$」「:」 「/」「.」「+」 アルファベット (先頭、末尾のみ) ※9 A～D
	有	4～22桁	3～21桁	—	1桁	

※1　「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの“有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の“有”・CODABARの“有”においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。

※2　UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。

※3　バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数＋自動的に付く文字数」となります。

※4　この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。

※5～6　ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。

※5　ITFのチェックデジット“無”で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※6　ITFのチェックデジット“有”で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※7　CODE39では、スタートコード（先頭）“*”・ストップコード（末尾）“*”が固定されます。

※8　この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

※9　CODABARでは、スタートコード（先頭）・ストップコード（末尾）は、“A・B・C・D”のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に“A・B・C・D”以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

QR コードラベルを作る

QR コードラベルを作ることができます。
QR コードとは、2 次元コードの 1 種です。携帯電話に名前、電話番号、URL などを読み取らせるなどの使い方があります。本機では株式会社 NTT ドコモの携帯電話（QR コードに対応した機種）で読み取りや登録ができる形式でラベルに印刷されます。QR コードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

印刷できる QR コードのタイプ

1 電話帳（NTT ドコモ電話帳登録）

2 ブックマーク（NTT ドコモブックマーク登録）

3 フリーテキスト

重要

- 18mm、24mm 幅のテープカートリッジを使用してください。
- 本機で印刷する QR コードはモデル 2 に対応しています。モデル 1 には対応しておりません。
- 本機で印刷するＱＲコードは誤り訂正レベルがM（15%）となります。
- 本機で印刷するＱＲコードのバージョンは 5 のみで、その他のバージョンには対応しておりません。
- 印刷した QR コードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
  印刷濃度を薄くする（98 ページ）
- QR コードラベルに適したテープは、次のとおりです。
  - 白テープに黒文字 (WE)
  - 白テープに青文字 (WEB)

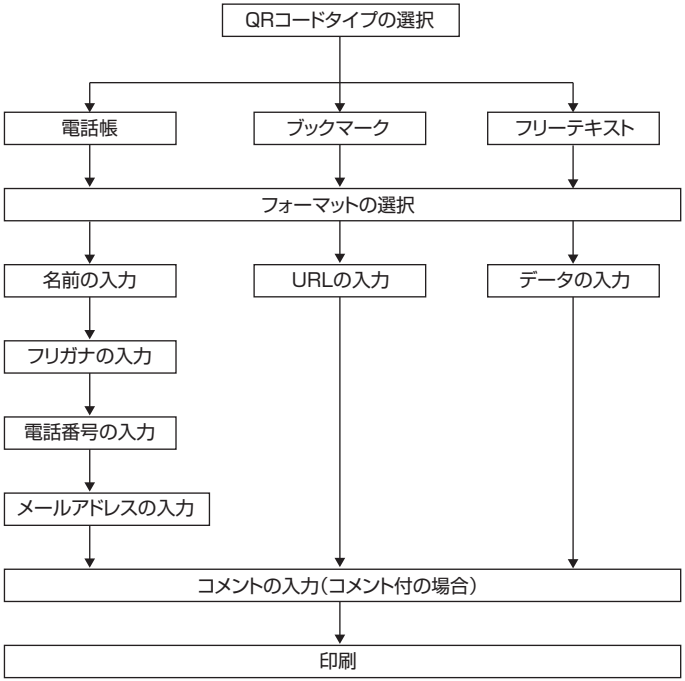
  ( ) 内はテープの型番です。
- QR コードを大量に連続印刷すると、正確に読み取れない場合があります。
- ラベルを縦書きにしても、QR コードは回転しません。
- 電話帳のフリガナ項目でカタカナの濁音文字、半濁音文字は、QR コード印刷時に清音と濁点、半濁点の 2 文字に変換されます。変換後の 4 文字までが QR コードに印刷されます。
  例：「バ」 → 「ハ」「゛」
  「パ」 → 「ハ」「゜」
- 電話帳のフリガナ項目で「ヮ、ヰ、ヱ、ヵ、ヶ」は、QR コード印刷時に以下のように変換されます。
  「ヮ」 → 「ワ」
  「ヰ」 → 「イ」
  「ヱ」 → 「エ」
  「ヵ」 → 「カ」
  「ヶ」 → 「ケ」
- 入力する文字列に「¥」「：」「；」「,」がある場合、携帯電話で読み取るときの制御文字の関係で、それぞれ以下のように 2 文字に変換されて QR コードで印刷されます。
  - 電話帳の「フリガナ」の項目
    「¥」 → 「￥￥」
    「：」 → 「￥：」
    「；」 → 「￥；」
    「,」 → 「￥,」
  - 電話帳の「E-mail」の項目
    「¥」 → 「￥￥」
    「：」 → 「￥：」
    「；」 → 「￥；」
  - ブックマークの「URL」の項目
    「¥」 → 「￥￥」
    「：」 → 「￥：」
    「；」 → 「￥；」

上記の制御文字の関係で「QR コード印刷の詳細仕様」（58 ページ）の入力可能文字数を下回る数の文字を入力しても、すべての文字が QR コードで印刷されないことがあります。QR コードで印刷された文字だけを携帯電話で読み取ることができます。

■ QR コード印刷の詳細仕様

タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
電話帳	1.QRのみ	なし	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
	2.データ付	4行	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
	3.コメント付	1行	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
			コメント	32
ブックマーク	1.QRのみ	なし	URL	74
	2.データ付	1行	URL	74
	3.コメント付	1行	URL	74
			コメント	32
フリーテキスト	1.QRのみ	なし	データ	52
	2.データ付	1行	データ	52
	3.コメント付	1行	データ	52
			コメント	32

■ QR コードラベル作成の流れ



• QR コードラベル作成時（コメント入力時を除く）は QR コード専用記号（110 ページ）を入力することができます。ただし、記号一覧（109 ページ）の記号や、絵文字一覧の絵文字（110 ページ）、外字（93 ページ）を入力することはできません。
コメント入力時は通常どおり記号、絵文字、外字の入力ができます。
QR コードのデータ構成の関係で入力可能な文字を上記のように区別しております。
• QR コード専用記号は、以下の操作で入力します。
1.77 ページ「記号（その他の記号）の入力」の手順 **1** の操作をします。
2. ^v<>で入力したい記号を選び、[実行]を押します。

［例］

上記の印刷例に沿って操作を説明します。

1 **[入]を押して、電源を入れます。**

2 **^v<>を押して「新規」を選び、[実行]を押します。**

3 **^v<>を押して「QR コード」を選び、[実行]を押します。**

4 **^v<>を押して QR コードのタイプを選び、[実行]を押します。**
ここでは「電話帳」を選びます。

5 **<>を押してフォーマットを選び、[実行]を押します。**
ここでは「3」を選びます。

フォーマットは以下の 3 種類から選びます。
1：QR コードのみ印刷
2：QR コードと入力したデータを印刷
3：QR コードとコメントを印刷

6 **名前を入力し、[実行]を押します。**
ここでは「田中大介」を入力します。

7 **自動的に入力されたフリガナが正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。正しくフリガナが入力できたら、[実行]を押します。**
ここでは「タナカダ」と表示されます。

8 **電話番号を入力し、[実行]を押します。**
ここでは「0009998888」と入力します。

9 **メールアドレスを入力し、[実行]を押します。**
ここでは「d-tnk@casio.co.jp」と入力します。

10 **コメントを入力し、[実行]を押します。**
ここでは「よろしく」と入力します。

11 ◁▷を押して**印刷**を選び、実行を押します。

12 **数字キー（または◁▷）を押して印刷枚数を設定し、▽を押します。**
1 ～ 100 枚まで設定できます。

13 **◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。**
印刷が開始されます。

- カットモードについて（21 ページ）
- ラベルデータを登録する（61 ページ）
- 「長さオーバー　印刷できません」と表示されたときは（105 ページ）

伝言板を使う

入力した伝言メッセージを表示画面に繰り返し、表示させることができます。

重要
- 表示専用の機能です。印刷はできません。
- オートパワーオフ（節電）機能（11 ページ）ははたらきません。

1 入を押して、電源を入れます。

2 △▽◁▷を押して「新規」を選び、実行を押します。

3 △▽◁▷を押して「伝言板」を選び、実行を押します。

4 **伝言メッセージを入力し、実行を押します。**
ここでは「午後 3 時までには戻ります」と入力します。

5 **◁▷を押して表示を選び、実行を押します。**
入力した伝言メッセージが表示されます。伝言メッセージは右から左に流れます。

- ◁▷を押すと伝言メッセージが流れる速度を 3 段階で調整できます。
- 伝言板を使い終わったときは、取消しを押した後、◁▷を押して「終了」を選び、実行を 2 回押します。
- ラベルデータを登録する（61 ページ）

作成したデータを登録する・呼び出す

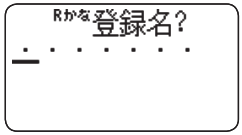
作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

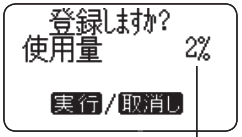
データに名前を付けて登録します。

文字の入力が完了すると右の画面が表示されます。

1 ◇◇を押して**登録**を選び、実行を押します。



2 **登録名を入力し、実行を押します。**
登録名は 7 文字まで入力できます。
- 登録名はデータを呼び出すときに使います。



すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 実行を押します。
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面（17 ページの**1** の画面）から呼び出します。

1 ◇◇◇◇を押して「登録データ」を選び、実行を押します。

2 ◇◇を押して **呼出し** を選び、実行を押します。

登録名が表示されます

3 ◇◇を押して呼び出したいデータの登録名を探し、実行を押します。
データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面（17 ページの **1** の画面）から削除することができます。

1 **△▽◁▷を押して「登録データ」を選び、実行を押します。**

2 **◁▷を押して削除 を選び、実行を押します。**

登録名が表示されます

3 **△▽を押して削除したいデータの登録名を探し、実行を押します。**

「よろしいですか？」と表示されます。

4 **実行を押します。**

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作をやめるときは取消しを押します。

デザインロゴ編

ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ）

オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、病院などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。
デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。ダウンロードサイトには、使用する場面に合わせたデザインロゴが用意されています。

[印刷例]

・通常印刷

・拡大印刷

デザインロゴの転送から印刷までの手順は以下のようになります。

1 ダウンロードサイトからデザインロゴをパソコンにダウンロード

▼

2 デザインロゴをパソコンから本機に転送

▼

3 本機で印刷

・本機にはあらかじめ「職場で使える分別ラベル」「現場で使える注意ラベル」「現場で使える注意ラベル 2」「病院で使える案内ラベル」の 4 種類のデザインロゴが内蔵されています。
内蔵されているデータを使って、本機だけで印刷することができます。
操作については、「デザインロゴを印刷する」(66 ページ) をご覧ください。
・本機内蔵のデザインロゴについては、デザインロゴ内蔵データー覧（117 ページ）をご覧ください。
・デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm、24mm 幅のテープです。

パソコンにデザインロゴをダウンロードする

インターネットに接続して、デザインロゴをダウンロードする操作を説明します。

重要
・お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境であることを確認してください。
・インターネットの接続料金、および電話料金は、お客様のご負担となります。

■パソコン側の操作

1 **別紙の「はじめにお読みください」をご覧になり、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」と KL-G1 用の「プリンタードライバー」をインストールしてください。**
・事前にインストール済みのときは、上記の操作は必要ありません。

2 Windows® の［スタート］ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。
- インストール時の設定によっては上記の操作と異なることがあります。

3 データダウンロードをクリックします。
ブラウザが起動し、ダウンロードサイトにアクセスします。お使いのパソコンのブラウザの画面上にダウンロードサイト(http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/)が表示されます。

重要 (オンラインカタログ）をクリックすると、デザインロゴのブラウザが起動し、デザインロゴのデザイン一覧が確認できるカタログサイトが表示されます。こちらからデザインロゴをダウンロードすることもできます。

4 ダウンロードしたいデザインロゴを選び、［ダウンロード］をクリックします。

5 「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されるので［保存（S)］をクリックします。

6 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので任意のフォルダに保存します。

重要
- ダウンロードするデザインロゴはグループ単位になります。個別にはダウンロードすることができません。
- ダウンロードしたデザインロゴは、本機でのみ使用可能です。パソコンでは使用できません。

ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する

ダウンロードしたデザインロゴのデータを本機に転送する操作と、本機にインストールされているデザインロゴの名称を確認する操作を説明します。

重要
- デザインロゴは、本機に最大 4 フォルダまでインストールすることができます。
すでにデザインロゴがインストールされているフォルダにインストールすると、デザインロゴデータは上書きされて、古いデータは失われます。
- デザインロゴのデータを本機にあらかじめ内蔵されていたデータに戻すときは、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」と同じフォルダに用意してあるデータをお使いください。なお、ダウンロードサイトにも、本機にあらかじめ内蔵されていたデータを用意しております。

■本機側の操作

1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(切)を押します。

2 AC アダプター、USB ケーブルを使って、パソコンと本機を接続します。
- 接続について詳しくは、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。

3 (入)を押して、電源を入れます。

4 (∧)(∨)(<)(>)を押して「デザインロゴ」を選び、[実行]を押します。
- 上記の操作の代わりに[デザインロゴ]を押しても同じ画面に進めます。

5 ㊤㊦を押して**データインストール**を選び、実行を押します。

6 ㊧㊨を押して**受信**を選び、実行を押します。
・画面に「通信準備完了」と表示されていることを確認します。

重要
・パソコンと本機で通信をするときには、通常はUSBリンクを押しますが、デザインロゴデータをインストールするときには、USBリンクを押してもインストールできません。
必ず、上記の操作をしてください。
・データ受信中には、ＡＣアダプターやＵＳＢケーブルを絶対に抜かないでください。

■パソコン側の操作

1 Windows の［スタート］ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。
・インストール時の設定によっては、上記の操作と異なることがあります。

2 **本体メモリー確認**をクリックします。
本機にインストールされているデザインロゴの名称が表示されます。

3 デザインロゴの名称を参考に、内容を更新したいフォルダの（参照）をクリックして、ダウンロードサイトからダウンロードしたデザインロゴのファイルを指定します。
・誤ったフォルダを指定してしまった場合は、（キャンセル）をクリックすると、そのフォルダの指定を取り消すことができます。

重要
・ファイルを指定していないフォルダについては、転送しても本機にインストールされているデザインロゴの内容は変わりません。

4 転送をクリックします。

5 確認ダイアログで「はい（Y）」をクリックして本機にデザインロゴを転送します。

■本機側の操作

1 通信が正常に終了した場合には「通信完了」が表示され右の画面に戻ります。

2 ㊧㊨を押して**終了**を選び、実行を２回押します。
・これで、転送したデザインロゴを使用することができます。

デザインロゴを印刷する

デザインロゴの印刷は、すべて本機側の操作です。

1 **入を押して、電源を入れます。**

2 **△▽◁▷を押して「デザインロゴ」を選び、実行を押します。**

・上記の操作の代わりにデザインロゴを押しても同じ画面に進めます。

3 **△▽を押してフォルダを選び、実行を押します。**

4 **△▽でデータを選びます。**

・デザインロゴ内蔵データー覧（117ページ）や、オンラインカタログ（http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/catalog/01.html）で番号を確認し、数字キーで番号を入力して選択することもできます。

5 **印刷/プレビューを押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます。**

・このとき表示されるのは「大きさ　1段（中）」で印刷した場合のデザインです。

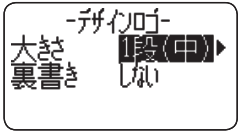
6 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、実行を押して画面を停止させます。**

実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

・画面が停止しているときに、◁または▷を押すと、コマ送りすることができます。
・プレビュー表示を中止するときは、取消しを押します。

7 **実行を押します。**

8 **◁▷を押して、印刷する大きさを選びます。**



・１枚のテープに印刷する通常印刷と、何枚かのテープに分けて印刷したラベルを貼り合わせ、大きなデザインロゴを作る拡大印刷が選べます。
通常印刷をする場合には「１段」を選びます。
・「通常印刷」は、横方向の大きさを「小」「中」「大」の３種類から選べます。
・拡大印刷は「拡大２段」、「拡大３段」、「拡大４段」から選べます。２段とは「２枚のテープに分けて印刷する」という意味です。
・印刷したときのデザインロゴの大きさは67ページのとおりです。
・「裏書き」にしたいときには、▽を押して、◁▷で**する**を選びます。

9 実行を押します。

10 ◁▷を押して印刷を選び、実行を押します。

11 △▽◁▷で印刷枚数、カットモードを指定します。
拡大印刷を選んだ場合は印刷枚数の代わりに「全部」「1 段目」などから印刷する項目を選びます。
・カットモードについて（21 ページ）

12 実行を押します。
・印刷が開始されます。

本機内蔵のデザインロゴにおける印刷時の大きさ

（サイズはいずれも 縦 × 横 で記載）

		24mm ／ 18mm 幅			12mm 幅			9mm 幅以下	備考
		倍率（%）		データの大きさ	倍率（%）		データの大きさ		
		縦	横		縦	横			
通常 1 段	小	100	75	16 × 54mm	62.5	50	10 × 36mm	（不可）	
	中	100	100	16 × 72mm	62.5	62.5	10 × 45mm	（不可）	
	大	100	150	16 × 108mm	62.5	75	10 × 54mm	（不可）	
拡大 2 段		200	200	32 × 144mm	125	125	20 × 90mm	（不可）	通常 1 段（中）× 2 倍
拡大 3 段		300	300	48 × 216mm	187.5	187.5	30 × 135mm	（不可）	通常 1 段（中）× 3 倍
拡大 4 段		400	400	64 × 288mm	250	250	40 × 180mm	（不可）	通常 1 段（中）× 4 倍

・18mm、24mm 幅テープで拡大印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。
「透明テープ」をお使いになると、余白部分をカットしなくても重ねて貼ることができます。

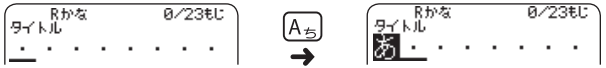
入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している**_**を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



＜	左にカーソルが移動する	∧	上にカーソルが移動する
＞	右にカーソルが移動する	∨	下にカーソルが移動する
機能を押し、指を離してから＜（行頭）を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能を押し、指を離してから＞（行末）を押す	行の最後にカーソルが移動する
機能を押し、指を離してから∧を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	機能を押し、指を離してから∨を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベルでのみ有効です。

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、＜＞を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。（＜＞を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。）

ローマ字入力？それともかな入力？

キーを押して文字を画面に表示させることを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- **ローマ字入力とは…**
  アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。
- **かな入力とは…**
  直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

機能を押し、指を離してからあア（ローマ字/かな）を押す

- 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まずあア（ローマ字/かな）を押して、「R かな」または「かな」を表示させます。

「設定」で切り換えるには

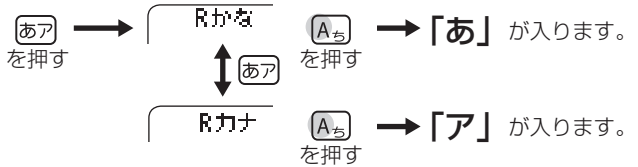
1 機能を押し、指を離してから8（設定）を押します。
2 ∧∨を押して「入力設定」を選び、実行を押します。
3 ∧∨＜＞を押して「かな」または「ローマ字」を選び、実行を押します。

入力する文字の切り替え方法

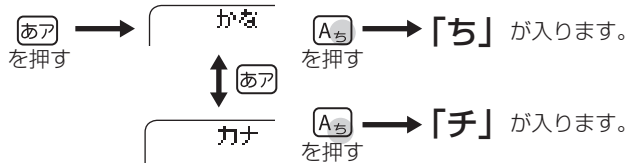
文字キーは、1 つで数種類の文字が入力できるようになっています。[あア]や[aA]を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り替えます。
ここでは[Aち]を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

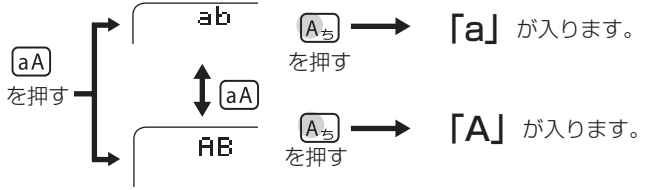
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット（大文字・小文字）の入力



ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

［例］ さくら

1 **[あア]を何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。**

・かな入力のときは、「かな」を表示させます。（68 ページ）

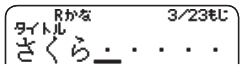
2 **[Sと][Aち][Kの][Uな][Rす][Aち]と押します。**

・かな入力のときは、[Xさ][Hく][Oら]と押します。

ひらがなを入力している最中は、
■ が文字に重なっています

3 **[無変換]または[実行]を押します。**

「さくら」が確定します。



・「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

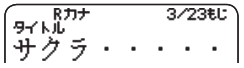
［例］ サクラ

1 **あア を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。**

・かな入力のときは、「カナ」を表示させます。（68 ページ）

2 **S と A ち K の U な R す A ち と押します。**

・かな入力のときは、X さ H く O ら と押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

例 サクラ

① ひらがなで「さくら」と入力します。

② さくらとなっているときに、機能を押し、指を離してから無変換を押します。

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	I に T か T か A ち	E い シフト Z っ Q た *
拗音	きょう	K の Y ん O ら U な	G ぎ シフト 9 よ 4 ぅ *
濁音	ぼく	B こ O ら K の U な	- ほ @ ゛ H く
半濁音	ぱぱ	P せ A ち P せ A ち	F は [゜ F は [゜
句点	。	. る 。	シフト . る 。
読点	、	, ね 、	シフト , ね 、
長音	ー	¥ ー	¥ ー
中点	・	シフト / め ・	シフト / め ・
を		W て O ら	シフト 0 わ を
ん		N み N み	Y ん
ヴ		「R カナ」表示のときに V ひ U な	「カナ」表示のときに 4 ぅ @ ゛
カ		X さ K の A ち または K の シフト A ち	シフト T か
ケ		X さ K の E い または K の シフト E い	シフト : け
空　白		空白	空白

＊シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと小文字（促音・拗音）になりますが、「っゃゅょぁぃぅ」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

・ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」（108 ページ）をご覧ください。

・,（カンマ）.（ピリオド）の入力方法については、76 ページをご覧ください。

・「空白」は、半角で入力することはできません。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。
ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、[実行]を押して、他の文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- **文章を入力してから変換する**
- **漢字１文字分ずつ変換する**（当て字や難しい固有名詞などの変換）
- **漢字辞書で漢字を呼び出す**（「読み」の他、「総画数」、「部首」から検索することができます）

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
よく使う語句を辞書に登録しておくこともできます。（95 ページ）
まとめて変換できる文字数は、32 文字までです。

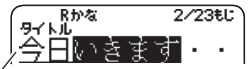
［例］ 今日行きます

1 **「きょういきます」をひらがなで入力します。**

2 **[変換]を押します。**
「きょういき」と「ます」という２つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。
- 前回使った漢字が最初に表示されます（学習機能）

「境域」に下線が付いています

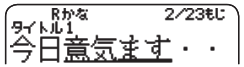
3 **〈を２回押します。**
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。



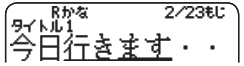
「今日」に変換されます

4 **[実行]を押します。**
「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という２つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます。

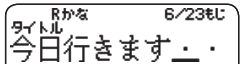
5 **〉を２回押します。**
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



6 **[変換]を何回か押して、「行きます」にします。**
[変換]を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉（同音異義語）が次々と表示されます。
- [機能]を押し、指を離してから[変換]を押す、または〈を押すと、１つ前の漢字が表示されます（前候補）。



7 **「行きます」が表示されたら、[実行]を押します。**
「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い
カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときに付く下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに[取消し]を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

例 きょう →[変換] 今日 →[取消し] きょう

「よみ」を入れて[変換]を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。（72 ページ）

漢字１文字ずつ変換する（単漢字変換）

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、１字ずつ目的の漢字に変換します。

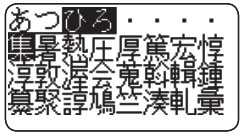
［例］　敦廣（あつひろ）

1 **「あつひろ」をひらがなで入力します。**

2 **変換を何回か押します。**
何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 **単漢字を押します。**

・もう一度単漢字を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度単漢字を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。

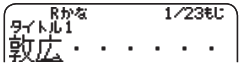


「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 **へ⊙〈〉を押して、敦にします。**

5 **実行を押します。**

「敦」が確定されます。



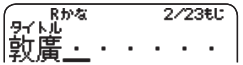
「広」に下線が付きます

6 **変換を何回か押して、「廣」にします。**

・単漢字を押して「廣」を探すこともできます。

7 **「廣」になっていることを確かめて、実行を押します。**

「廣」が確定されます。



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

・「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
・「図（ず）」を「づ」と入力している
・「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
・「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

・「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
・「っ」の促音
・「ず」と「づ」
・「じ」と「ぢ」
・「お」と「う」

漢字辞書を使って文字を入力（漢字辞書機能）

漢字の読みや、画数などから漢字を呼び出すことができます。
漢字の呼び出し方には、3 種類あります。
- 「読み検索」　読みから該当する漢字を呼び出します。
- 「総画数検索」総画数から該当する漢字を呼び出します。
- 「部首検索」　部首から該当する漢字を呼び出します。

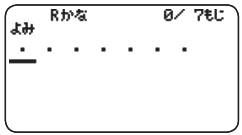
重要 漢字辞書機能は文字が入力できる画面で有効です。ただし、文字が未確定のときや、変換中、記号や文字修飾などの選択画面などでは漢字辞書は使えません。

読みから呼び出す

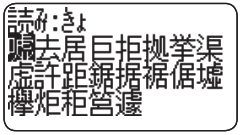
［例］「挙」という漢字を呼び出す

1 機能を押し、指を離してから単漢字（漢字辞書）を押します。

2 ▲▼を押して読み検索を選び、実行を押します。



3 「挙」の音読みである「きょ」を入力し、実行を押します。

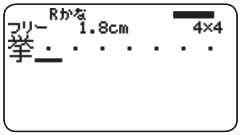


「きょ」と読む漢字の一覧が表示されます。

4 ▲▼◀▶を押して挙を選び、実行を押します。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

5 実行を 2 回押します。



「挙」という漢字が文字入力画面のカーソルの位置に入ります。

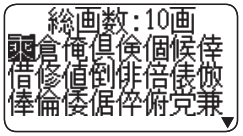
総画数から呼び出す

［例］「挙」という漢字を呼び出す

1 機能を押し、指を離してから単漢字（漢字辞書）を押します。

2 ∧∨を押して**総画数検索**を選び、実行を押します。

3 数字キー（または〈〉キー）を押して総画数を入力し、実行を押します。
ここでは「挙」の総画数である「10」と入力します。



10 画の漢字の一覧が表示されます。
- 1 ～ 30 画まで入力できます

4 ∧∨〈〉を押して**挙**を選び、実行を押します。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

5 実行を 2 回押します。

「挙」という漢字が文字入力画面のカーソルの位置に入ります。

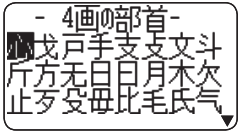
部首から呼び出す

［例］「挙」という漢字を呼び出す

1 機能を押し、指を離してから単漢字（漢字辞書）を押します。

2 ∧∨を押して**部首検索**を選び、実行を押します。

3 数字キー（または〈〉キー）を押して部首の画数を入力し、実行を押します。
ここでは「挙」の部首「手」の画数である「4」と入力します。



4 画の部首の一覧が表示されます
- 1 ～ 16 画まで入力できます

4 ^v<>を押して**手**を選び、実行を押します。

選んだ部首を持つ漢字の一覧が表示されます。

5 ^v<>を押して**挙**を選び、実行を押します。

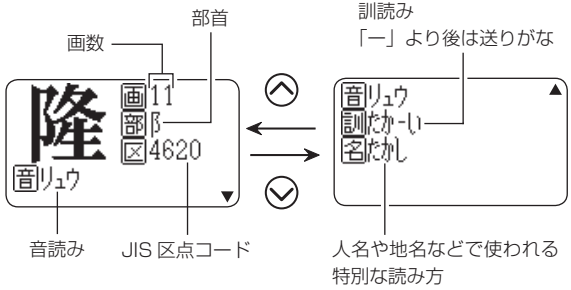
「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

6 実行を２回押します。

「挙」という漢字が文字入力画面のカーソルの位置に入ります。

・漢字辞書詳細表示について

漢字辞書詳細表示中に^vを押すと、漢字の読み方を見ることができます。



- 漢字辞書詳細表示中に↵を押すと、表示フォントを切り替えることができます。(明朝→角ゴシック→丸ゴシック→明朝)

- 読みでの検索は「音読み」、「訓読み」、「人名や地名などで使われる特別な読み方」のいずれでも検索できます。
- フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- 部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- 漢字辞書機能で呼び出した場合は、漢字の学習機能(71 ページ)は、はたらきません。
- 文字が入力されたときは、そのときのカーソル位置のサイズや装飾、書体などに合わせて入力されます。
- 単位の名称を漢字で表すもの（米：メートル、弗：ドルなど）は訓読みに含め、ひらがなで表示しています。

アルファベット・数字・記号・絵文字の入力

アルファベット、数字、記号、絵文字の入れ方を説明します。

アルファベットの入力

［例］ ＡＫＩ

1 **aA を何回か押して、画面の左上に「ａｂ」または「ＡＢ」を表示させます。**

ａｂ：小文字を入力するとき
ＡＢ：大文字を入力するとき

2 **A た K の I に と押します。**

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。

・カンマ（,） ピリオド（.）を入力するには

画面の左上に「ＡＢ」または「ａｂ」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ： 、ね　　**ピリオド：** 。る

・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには

「ＡＢ」表示のとき‥‥ シフト を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

例 TAKESHI's

「ａｂ」表示のとき‥‥ シフト を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

数字の入力

［例］ １２３

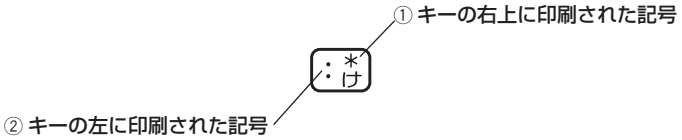
■かな入力のとき

1 **aA を押して、画面の左上に「ａｂ」または「ＡＢ」を表示させます。**

・ローマ字入力のときは、手順1の操作は不要です。

2 **1ぬ 2ふ 3あ と押します。**

記号（キーに印刷されているもの）の入力



■ローマ字入力の場合

① ：＊けんを押すと ⟶「：」が入ります。

② シフトを押し、指を離してから ：＊けんを押すと ⟶「＊」が入ります。

■かな入力の場合

① aA ⟶ AB ：＊けんを押すと ⟶「:」が入ります。

または

ab

② aA ⟶ AB シフトを押し、指を離してから ：＊けんを押すと ⟶「＊」が入ります。

または

ab

記号（その他の記号）の入力

㍉ ♂ ㊟ ☜ ⑫ など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」「診療科目」の 7 つのグループに分かれています。109 ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

[例] ☎（グループ＝単位・略）

1 **機能を押し、指を離してから 記号 5%え を押します。**

記号のグループ名

2 **◠◡〈〉を押して単位・略にし、実行を押します。**

3 **◠◡〈〉を押して☎にし、実行を押します。**

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は 20 のグループに分かれています。
110 ～ 111 ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。
また、文字体の指定は無効です。

[例] （グループ＝食べ物）

1 機能 を押し、指を離してから 絵文字 6 &おお を押します。

絵文字のグループ名

2 ^ v < > を押して 食べ物 にし、実行 を押します。

3 ^ v < > を押して にし、実行 を押します。

文字を修正・削除するときは

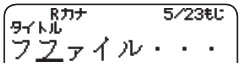
文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を 1 文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

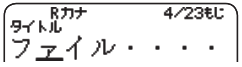
[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 < > を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2 文字削除 を押します。

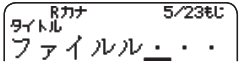
「ファイル」になります。



■カーソルの前の文字を消す

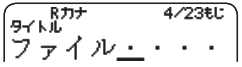
[例] 「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2 後退 を押します。

「ファイル」になります。



すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 機能を押し、指を離してから文字削除を押します。

「削除しますか？」と表示されます。

・文削除をやめるときは、取消しを押します。
フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで実行を押します。

2 実行を押します。

・画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

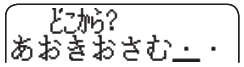
消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

[例]　「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 機能を押し、指を離してから文字削除を押します。

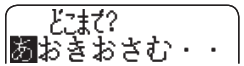
2 ◁▷を押して部分削除を選び、実行を押します。

操作をやめるときは取消しを押します。



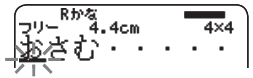
3 △▽◁▷を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。



4 △▽◁▷を押して消したい部分の最後の文字を指定し、実行を押します。

ここではあおきにします。



間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

■「上書き」にするとき

シフトを押し、指を離してからあアを押します。

＜挿　入＞　　＜上書き＞

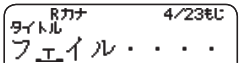
反転します

もう一度シフトを押し、指を離してからあアを押すと、「挿入」状態に戻ります。

[例]　「フェイル」を「ファイル」に直す

■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

1 ◁▷を押して「ェ」にカーソルを合わせます。

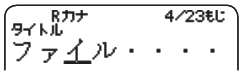


2 文字削除を押します。

「ェ」が削除され、「イ」が「ェ」の位置に移動します。

3 「ァ」を入力します。

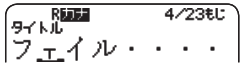
・「ァ」はシフトを押し、指を離してからA ちを押して入力します。



「ァ」が「イ」の前に入力されます

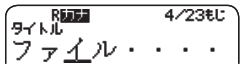
■間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

1 ＜＞を押して「ェ」にカーソルを合わせます。



2 「ァ」を入力します。

「ェ」が「ァ」になります



「設定」で切り換えるには

1 機能を押し、指を離してから8 ゆ（設定）を押します。

2 ＜＞を押して「入力設定」を選び、実行を押します。

3 ＜＞を押して「上書き」または「挿入」を選び、実行を押します。

確定前に文字を直したり消したりするには…

ふぇいるなど、文字に［　　］が重なっているとき（確定前）に文字を消したり直したりするときも確定後の文字と同じ操作で行います。

ただし、取消しを押すと、［　　］が重なっている文字が全部消えます。

確定➔71 ページ

「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体（フォント）を変える

入力済みの文字の形（書体）を、和文３書体・かな８書体・英数 12 書体の中から選ぶことができます。
また、電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明します。

■和文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
禁煙	禁煙	禁煙

■かな書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
あア	あア	あア
手書き	ボンジュール	メロディ
あア	あア	あア
パレット	プロデュース	
あア	あア	

■英数書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
A2	A2	A2
手書き	ボンジュール	メロディ
A2	A2	A2
パレット	プロデュース	ステンシル
A2	A2	A2
ポップ	ボールドスクリプト	ブラックレター
A2	A2	A2

・メモリーリセット後は、「和文フォント：明朝体」「かな・英数フォント：和文と同じ」に設定されています。

・かな書体は、次の文字が指定の対象になります。
・アルファベット（A～Z　a～z）
・数字（１２３４５６７８９０）
・ひらがな（あ～ん）
・カタカナ（ア～ン、ヴ、ヵ、ヶ）
・記号の一部（、。,.　？！長音ー～（）￥%スペース）
・英数書体は、次の文字が指定の対象になります。
・アルファベット（A～Z　a～z）
・数字（１２３４５６７８９０）
・記号の一部（,.　？！ー～（　）￥%スペース）

重要!! かな・英数フォントの指定で、ステンシル／ポップ／ボールドスクリプト／ブラックレターを選んだ場合には、ひらがな、カタカナは和文フォントの指定と同じフォントになります。

入力済みの文字の書体を変える

［例］ヒーリング*MUSIC*集

（「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスクリプトにする）

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してからフォント 1 ぬ を押します。

3 ^v を押して 角ゴシック を選び、実行 を押します。

（和文の書体の種類を選びます。）

4 ^v を押して A　ボールドスクリプト を選び、実行 を押します。

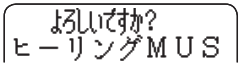
（かな・英数の書体の種類を選びます。）

5 ^v<> を押して設定の範囲を選び、実行 を押します。

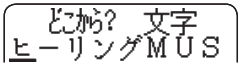
- 全文：フォーマット単位で設定されます。
- ブロック：ブロック単位で設定されます。
- 行：項目単位で設定されます。
- 文字：文字単位で設定されます。

・フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

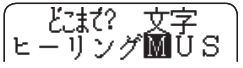
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、実行 を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順 **6**、**7** で範囲を指定します。



6 ^v<> を押して書体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行 を押します。



7 ㊤㊦㊧㊨を押して、書体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。

電源を入れたときの書体を決める

1 機能を押し、指を離してから設定 8ゆを押します。

2 ㊤㊦を押して初期フォントにし、実行を押します。

3 ㊤㊦を押して和文フォントを選び、実行を押します。

4 ㊤㊦を押してかな・英数フォントを選び、実行を押します。

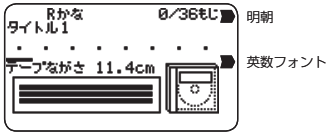
5 ㊁を押して一度電源を切り、再び㊀を押して電源を入れます。

6 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

● 「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

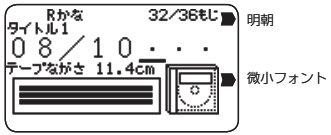


入力中の文字の書体を■で示します。

- かな・英数フォントの指定で「和文と同じ」を選んだ場合には、■は 1 つだけ点灯します。
- かな・英数フォントの指定で、「手書き／ボンジュール／メロディ／パレット／プロデュース」を選んだ場合には、■は 3 つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち 1 つと、「かなフォント」、「英数フォント」が点灯します）。
- かな・英数フォントの指定で、「ステンシル／ポップ／ボールドスクリプト／ブラックレター」を選んだ場合には、■は 2 つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち 1 つと、「英数フォント」が点灯します）。このとき、ひらがな、カタカナは和文フォントで指定したフォントになります。
- 英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

印刷するときは行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の■が点灯します。



●微小フォントには、次のような特徴があります。
- フォントの設定は無効です。（すべて同じフォントで印刷されます）
- プロポーショナルの設定は無効です（「しない」になります）。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を上付・下付にする

文字を 1/4 の大きさにして、上に寄せたり（上付）下に寄せたり（下付）することができます。

上付　議事録※1

下付　167センチ

・「インデックスラベル」、「拡大印刷」では、上付、下付には変更できません。

重要 ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号の一部が対象になります。

[例] 167センチ　（下付）

1 **文字を入力します。**

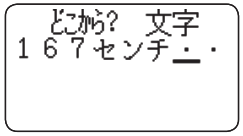
2 **機能を押し、指を離してから（印字サイズ）3 #あ を押します。**
フリーラベル以外では手順 **4** に進みます。

3 **◁▷を押して、1/4 角を選び、実行を押します。**

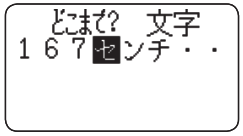
4 **△▽◁▷を押して□下付を選び、実行を押します。**
フリーラベル以外では手順 **6** に進みます。

5 ^v<>を押して**文字**を選び、実行を押します。

- **全文**：すべての文字を上付・下付にするとき
- **ブロック**：ブロック単位で上付・下付にするとき
- **行**：行単位で上付・下付にするとき
- **文字**：文字単位で上付・下付にするとき

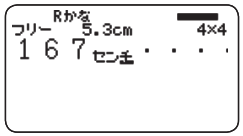


6 ^v<>を押して、下付にする最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。



7 ^v<>を押して、下付にする最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

指定した文字が１／４の大きさになり、下に寄せられます。



•文字を元に戻すときは、手順 **4** で「□全角」を選びます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。

• 絵文字・外字は、文字体の指定はできません。

標準

住所録

太字

住所録

白抜

住所録

影付

住所録

立体

住所録

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから装飾 4$ を押します。

•「文字修飾」が指定できない機能やフォーマットの場合には、手順 **4** に進みます。

3 <>を押して**文字体**を選び、実行を押します。

4 **△▽◁▷を押して文字体の種類を選び、実行を押します。**

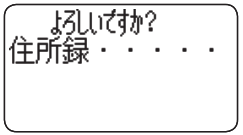
- A 標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

5 **△▽◁▷を押して設定の範囲を選び、実行を押します。**

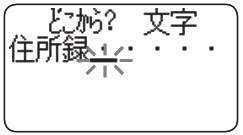
- 全文：フォーマット単位で設定されます。
- ブロック：ブロック単位で設定されます。
- 行：項目単位で設定されます。
- 文字：文字単位で設定されます。

- フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

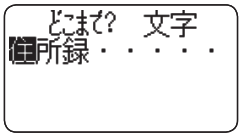
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、実行を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順**6**、**7**で範囲を指定します。



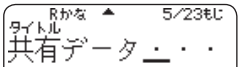
6 **△▽◁▷を押して、文字体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**



7 **△▽◁▷を押して、文字体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

AAAA



画面上の「**A**」（太字）・「**A**」（白抜）・「**A**」（影付）・「**A**」（立体）に▲が付きます。
標準の場合は何も付きません。

文字に飾りを付ける

フリーラベルでは、文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。
また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠を付けることができます。

網　掛	下　線	枠付（文字）	枠付（詳細）
修飾	修飾	修飾	修飾

文字修飾を指定する

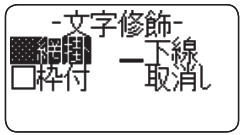
1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから装飾 4$う を押します。

3 ◇◇を押して**文字修飾**を選び、実行を押します。

- 用途別ラベルの文字修飾が指定できるフォーマットでは、「枠付」の「あり」「なし」を選ぶ画面が表示されます。

◇◇で「あり」「なし」を選んで、実行を押すと文字修飾が指定できます。

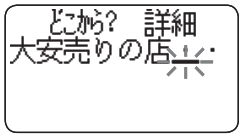


4 ◇◇◇◇を押して文字修飾の種類を選び、実行を押します。

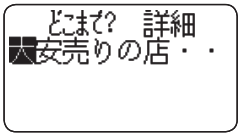
- **取消し**を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。

5 ◇◇◇◇を押して文字修飾する部分を指定し、実行を押します。

- **詳細**：文字のかたまりに指定するとき
  例 大安売りの店
- **ブロック**：ブロック単位で指定するとき
- **行**：行単位で指定するとき
- **文字**：１文字ずつ指定するとき
  例 大安売りの店

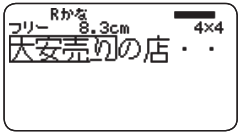


6 ◇◇◇◇を押して、文字修飾する最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。



7 ◇◇◇◇を押して、文字修飾を指定する最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。



こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねて付けることもできます。１つの飾りを付けたあとに、別の飾りを重ねて付けます。

特売
網掛＋枠付（詳細）

特売
網掛＋下線

特売
網掛＋下線＋枠付（文字）

- 文字の大きさによっては、枠付と下線を重ねると、枠と下線が重なって印刷されることがあります。

文字修飾を取り消す

1 機能を押し、指を離してから装飾 4$う を押します。

2 ◁▷を押して**文字修飾**を選び、実行を押します。

3 △▽◁▷を押して**取消し**にし、実行を押します。

複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、△▽◁▷を押して取り消したい文字修飾を選び、実行を押します。

4 △▽◁▷を押して**文字**にし、実行を押します。

5 △▽◁▷を押して、文字修飾を取り消したい最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

6 △▽◁▷を押して、文字修飾を取り消したい最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、ここで実行の代わりに文字削除を押します。

よく使う語句を登録する / 呼び出す（プリセットタイトル）

よく使う単語や文章を登録しておき、文字の入力中に呼び出して挿入することができます。
入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

- 最大 49 文字の語句を 50 件まで登録できます。
- お買い上げの状態では、以下の 20 件の語句が登録されています。修正や書き換えが可能です。

番号	データ内容	番号	データ内容	番号	データ内容
1	製造年月日	8	有効期間	15	税込￥
2	作成日	9	まで保管	16	本体価格￥
3	撮影日	10	まで有効	17	BACKUP DATA
4	更新日時	11	交換期限	18	BEST ALBUM
5	交換日	12	賞味期限	19	http://
6	購入日	13	品質保持期限	20	E-mail:
7	保存期間	14	消費期限		

プリセットタイトルを呼び出す

文字を入力中に、プリセットタイトルを呼び出して挿入します。

1 プリセットタイトルを押します。

登録されている語句が表示されます。

2 ㊤㊦を押して、挿入したい語句を選びます。

- 数字キーで番号を入力して選択することができます。1 ～ 50 までを入力できます。

3 実行を押します。

新しくプリセットタイトルを作る

文字を入力してプリセットタイトルを作り、登録します。

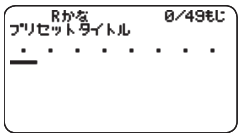
1 機能を押し、指を離してからプリセットタイトル（タイトル編集）を押します。

2 ㊧㊨を押して作成を選び、実行を押します。

文字入力エリアに文字が無いときは、手順 3 の画面が表示されます。

3 ㊧㊨を押して語句の作り方を選び、実行を押します。

- 新規作成…最初から文字を入力して作ります。
- 参照作成…入力中の文字をベースに作ります。



4 文字を入力し、実行を押します。

参照作成を選んだときは、入力中の文字が表示されます。必要に応じて修正して実行を押してください。

- 記号、絵文字、外字も使うことができます。
- 書体、文字体、書式を指定することはできません。

5 ㊤㊦を押して登録する場所を選びます。

「未登録」と表示されている場所は、データが登録されていません。

6 実行を押すと、「よろしいですか？」と表示されるので、よければ実行を押します。

- 別の場所に登録したいときは、取消しを押します。

これで登録は完了です。

参照作成のときには

- 参照した内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- 1/4 角の文字は全角に置き換わります。
- 入力中の文字が 49 文字以上ある場合には、先頭から 49 文字分が参照できます。

プリセットタイトルを修正する

登録したプリセットタイトルを、呼び出して修正します。

1 機能を押し、指を離してからプリセットタイトル（タイトル編集）を押します。

2 ㊧㊨を押して修正を選び、実行を押します。

3 ㊤㊦を押して修正する語句を選び、実行を押します。

4 **語句を修正し、実行を押します。**

5 **△▽を押して登録する場所を選び、実行を押します。**
「よろしいですか？」と表示されます。

・別の場所に登録したいときは、取消しを押します。

6 **実行を押します。**
これで修正は完了です。

プリセットタイトルを削除する

登録したプリセットタイトルを削除します。

1 **機能を押し、指を離してからタイトル編集 プリセットタイトルを押します。**

2 **◁▷を押して削除を選び、実行を押します。**

3 **△▽を押して削除する語句を選び、実行を押します。**
「よろしいですか？」と表示されます。

・別の語句を削除したいときは、取消しを押します。

4 **実行を押します。**
削除されたプリセットタイトルの欄は「未登録」になります。

日付や時刻をデータに挿入する

資料やディスクの作成日など、現在の日付や時刻をデータに挿入することができます（タイムスタンプ）。また、有効期限や保存期間など、指定した期間が経過した時点の日付や時刻をデータに挿入することができます（タイムスパン）。

タイムスタンプの印刷例

エンジンオイル
交換日2014年9月6日

タイムスパンの印刷例

会社名	☆○レンタル株式会社
レンタル物件	パーソナルコンピューター
レンタル期限	2016年9月5日

タイムスタンプとタイムスパンの印刷例

加工年月日	2014年9月6日
消費期限	2014年9月16日

現在の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスタンプ）

日付や時刻の表示形式は、以下の 14 の形式から選べます。

	（現在の日時が「2014 年 10 月 26 日 13 時 30 分」の場合）
平成 26 年 10 月 26 日	
H26.10.26	
2014 年 10 月 26 日	
2014/10/26	
2014-10-26	
平成 26 年 10 月	
2014 年 10 月	
2014/10	
10 月 26 日	
10/26	
10 月 26 日（日）	
10/26（日）	
13 時 30 分	
13：30	

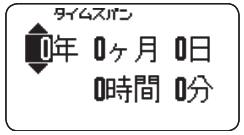
1 **[タイムスタンプ]を押します。**
現在の日付、時刻を表示した後、日付や時刻の入力形式を選ぶ画面が表示されます。

日付、時刻を設定する→ 98 ページ

2 **△▽を押して日付や時刻の入力形式を選び、[実行]を押します。**
画面に現在の日付や時刻が挿入されます。

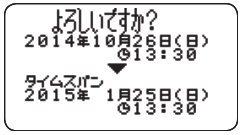
指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスパン）

1 **[機能]を押し、指を離してから[タイムスタンプ]（タイムスパン）を押します。**



2 **△▽◁▷を押して期間を指定します。**
- 「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には◁▷を押します。数字を指定するときは△▽を押します。
- 直接数字を入力することもできます。
- 各項目の指定可能範囲は以下のとおりです。
  年：0 ～ 30
  月：0 ～ 36
  日・時・分：0 ～ 99
- 各項目を指定するときには以下の点に注意してください。
  - 年月のどちらか一方でも「0」でないときには、現在日も含めて計算します。
    例：現在の日付が 2014 年 1 月 10 日のときに年「1」を指定すると 2015 年 1 月 9 日になります。
  - 指定した値では、該当日がないときには、その月の最後の日になります。
    例：1 月 31 日の 1 ヶ月後を指定すると 2 月 28 日になります。

3 **[実行]を押します。**
- 「タイムスパン」の下に表示された年月日、時刻でよいか確認してください。
- 変更したいときは、[取消し]を押して期間を指定し直してください。



4 **[実行]を押します。**
指定した期間後の、日付や時刻で表示された入力形式を選ぶ画面が表示されます。

5 **△▽を押して日付や時刻の入力形式を選び、[実行]を押します。**
画面にご指定の日付や時刻が挿入されます。

入力した文字をコピーする・貼り付ける（コピー・ペースト）

文字をコピーし、呼び出して挿入することができます。

・入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

文字をコピーする

1 **文字を入力します。**

2 **機能を押し、指を離してからコピーを押します。**

3 **↑↓←→を押して、コピーする最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**

4 **↑↓←→を押して、コピーする最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**

「コピー完了」と表示された後、文字入力画面に戻ります。

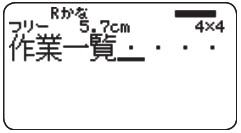
- コピーできる文字数は、49 文字までです。それ以上のときは、先頭から 49 文字までコピーし、残りの文字はコピーされません。
- コピーは 9 個まで取り込むことができます。10 個目をコピーしたときは、古い順にコピーした内容がなくなります。
- コピーした内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- 1/4 角の文字は全角に置き換わります。

コピーした文字を貼り付ける（ペースト）

1 **機能を押し、指を離してからを¥?（ペースト）押します。**

2 **↑↓を押して貼り付ける内容を選び、実行を押します。**

指定した文字が貼り付けられます。



- 項目に入力できる最大文字数を超えるときは、超過した文字は貼り付けられず、「文字数オーバー　ペーストできなかった文字があります」と表示されます。

オリジナルの文字（外字）を作る

Ⓐや㊀などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます（**外字**）。4 つまで本機の中に登録（記憶）しておくことができます。外字では、文字体の指定は無効です。

外字を作る方法には、次の 2 つがあります。

- **はじめから自分で作る（新規作成）**
  …まったくオリジナルな外字を作るとき
- **本機の中にある文字を利用して作る（参照作成）**
  …Ⓐや**髙**のように、既存の文字が利用できるとき

はじめから自分で作る（新規作成）

［例］

1 機能 を押し、指を離してから 外字 7 や を押します。

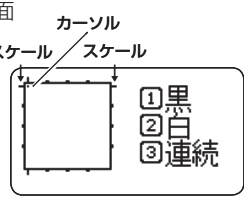
2 ∧∨〈〉を押して**作成**を選び、実行 を押します。

3 〈〉を押して**新規作成**を選び、実行 を押します。

- 手順 **1** でカーソルの位置に文字がなかった場合は、**外字作成画面**（手順 **4** の画面）になります。そのまま手順 **4** からはじめてください。

4 外字作成画面で外字を作成します。

- 外字作成画面

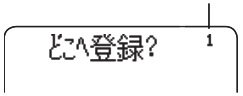


カーソルを移動させるときは	∧∨〈〉を押してカーソルを移動します。
点を 1 つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、1 ぬ !（黒）を押します。
点を 1 つ消すときは	塗りつぶされている点までカーソルを移動し、2 ふ "（白）を押します。
線を描くときは	1 ぬ !（黒）を押し、指を離してから 3 あ #（連続）と押し、**黒** **連続**にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	2 ふ "（白）を押し、指を離してから 3 あ #（連続）と押し、**白** **連続**にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

- 斜め方向に連続して塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1 つの点ごとに操作してください。
- 外字作成画面で 1 ぬ !（黒）または 2 ふ "（白）のどちらかが指定されているときは、3 あ #（連続）を押すたびに連続入力を「する / しない」が切り替えられます。

連続になっていない場合は、機能 〈、機能 〉でカーソルを画面の左右の端へ、機能 ∧、機能 ∨でカーソルを上下の端へ、それぞれ移動することができます。

5 外字が完成したら、実行を押します。



6 ^v<>を押して登録する場所を番号で選び、実行を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。
- 登録されている外字を消していい場合はそのまま実行を押します。消したくない場合は、取消しを押して、登録番号を選び直します。

7 実行を押します。

本機にある文字を利用して作る（参照作成）

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます。（記号→ 109 ページ、絵文字→ 110 ページ）

［例］ 高 → 髙

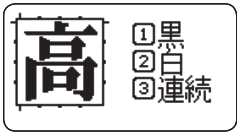
1 「高」を入力します。

2 <>を押して、「高」にカーソルを合わせます。

3 機能を押し、指を離してから外字 7 やを押します。

4 ^v<>を押して作成を選び、実行を押します。

5 <>を押して参照作成を選び、実行を押します。
外字作成画面に「高」が表示されます。



6 93 ページの手順 4 からの操作をして、外字の作成と登録をします。

すでに作ってある外字を修正する

1 機能を押し、指を離してから外字 7 やを押します。

2 ^v<>を押して修正を選び、実行を押します。

3 ^v<>を押して修正する外字を選び、実行を押します。
外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。

4 93 ページの手順 4 からの操作をして、外字の修正と登録をします。

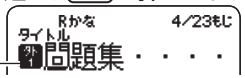
外字を使う

1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2 機能を押し、指を離してから外字 7 やを押します。

3 ^v<>を押して**呼出し**を選び、実行を押します。

4 ^v<>を押して呼び出す外字を選び、実行を押します。



外字マーク
外字が入力されていることを示します

- 呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

登録した外字を削除する

1 機能を押し、指を離してから外字 7やを押します。

2 ^v<>を押して**削除**を選び、実行を押します。

3 ^v<>を押して削除する外字を選び、実行を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。

4 実行を押します。
選んだ外字が削除されます。

外字を文章中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、文章中の外字が入っていた位置は空白で印刷されます。

よく使う語句を辞書に登録する（ユーザー辞書）

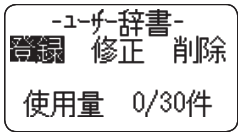
日常よく使う専門用語などを「読み」とともに登録しておくと、「読み」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用句などを短い「読み」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。
最大 10 文字の語句を 30 件まで登録できます。
ユーザー辞書は、電源を入れた直後の画面のときに登録できます。

語句を登録する

[例] 秋葉原（あきば）

1 機能を押し、指を離してから設定 8ゆを押します。

2 ^v を押して**ユーザー辞書**を選び、実行を押します。
登録されている件数が表示されます。



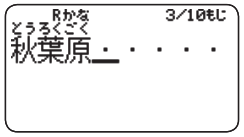
3 <> を押して**登録**を選び、実行を押します。

4 読みを入力します。
ここでは「あきば」と入力します。
- 読みに入力できる文字はひらがなと長音のみ、最大 10 文字までです。

5 実行を押します。
語句の入力画面が表示されます。

6 **語句を入力します。**
ここでは「秋葉原」と入力します。

・語句に入力できる文字は外字を含むすべての文字種で、最大 10 文字までです。



7 **実行を押すと、「よろしいですか？」と表示されるので、もう 1 度実行を押します。**
「登録完了」と表示されて、手順 **1** を操作する前の画面に戻ります。

・語句は最大 30 件まで登録できます。

登録した語句を修正する

1 **機能を押し、指を離してから 8ゆ（設定） を押します。**

2 **△▽を押してユーザー辞書を選び、実行を押します。**

3 **◁▷を押して修正を選び、実行を押します。**

4 **△▽を押して修正したい語句を選び、実行を押します。**

5 **読みを修正して、実行を押します。**
語句の修正画面が表示されます。

6 **語句を修正して、実行を押します。**
「よろしいですか？」と表示されます。

7 **実行を押します。**
「登録完了」と表示されて、手順 **1** を操作する前の画面に戻ります。

登録した語句を削除する

1 **「語句を登録する」の手順 3 で削除を選び、実行を押します。**

2 **△▽で削除する語句を選んで、実行を押します。**

3 **実行を押します。**
「削除完了」と表示されて、「語句を登録する」の手順 **1** を操作する前の画面に戻ります。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に[機能]を押し、指を離してから[設定 8ゆ]を押すと、右の画面が表示されます。

△▽で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

・電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目		内容	ページ
入力設定	挿入 / 上書き	文字の入力方法を決める	80
	ローマ字入力 / かな入力	日本語の入力方法を決める	68
	ブザー音　あり / なし	ブザー音を鳴らす / 鳴らさないを決める	97
輝度調整		画面の濃淡を調整する	97
印刷濃度		印刷の濃さを調整する	98
初期フォント		入力文字の最初の書体を決める	83
日時設定		日付、時刻を設定する	98
ユーザー辞書		「読み」と「語句」の組み合わせを登録して、熟語変換の候補として表示させる	95
デモ印刷		いろいろな機能を使って作成したラベルの印刷例を印刷する	98

ブザー音を消したい

電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

1 [機能]を押し、指を離してから[設定 8ゆ]を押します。

2 △▽を押して**入力設定**を選び、[実行]を押します。

3 △▽〈〉を押して**ブザー音なし**を選び、[実行]を押します。

・ブザー音を鳴らしたいときは、**ブザー音あり**にします。

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ（コントラスト）を調整することができます。

・バックライト（8ページ）は調整できません。

1 [機能]を押し、指を離してから[設定 8ゆ]を押します。

2 △▽を押して**輝度調整**を選び、[実行]を押します。

3 〈〉を押して明るさを調整し、[実行]を押します。

〈を押すごとに淡く、〉を押すごとに濃くなります。

印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 機能を押し、指を離してから設定 8ゆを押します。

2 ^v を押して**印刷濃度**を選び、実行を押します。

3 <> を押して濃さを設定し、実行を押します。

1 にすると 1 番薄く印刷され、5 にすると 1 番濃く印刷されます。

・印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

日付、時刻を設定する

正しい日付、時刻を設定することができます。

1 機能を押し、指を離してから設定 8ゆを押します。

2 ^v を押して、**日時設定**を選び、実行を押します。

3 <>^v を押して、日付、時刻を指定します。

・「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には <> を押します。数字を指定するときは ^v を押します。
・直接数字を入力することもできます。

4 設定が終わったら、実行を押します。

サンプルデータを印刷する（デモ印刷）

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。
（データの登録→ 61 ページ）

1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。

・テープカートリッジについて→ 13 ページ

2 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、切を押します。

3 入を押して電源を入れます。

4 機能を押し、指を離してから設定 8ゆを押します。

5 ^v を押して**デモ印刷**を選び、実行を押します。

6 **〈〉を押して印刷を選び、実行を押します。**

7 **「枚数　1 枚」「カットモード　通常」になっていることを確認します。**
- 印刷枚数やカットモードを変更することもできます。21 ページ「印刷とカットモード」をご覧ください。
- 特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。（21 ページ）

8 **実行を押します。**
- 印刷が始まります。
- デモ印刷中に、途中で印刷が数秒止まることがありますが、故障ではありません。
- セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

9 **印刷が終了したら〈〉を押して終了を選び、実行を押します。**
「終了しますか？」と表示されます。

10 **実行を押します。**

付　録

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順に従って、プリンターヘッドやゴムローラーを掃除してください。

綿棒できれいにする

重要 ・プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

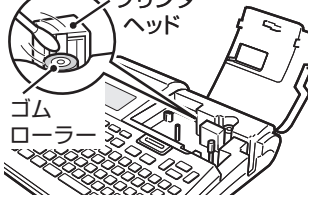
1 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

重要 ・印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 **アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。**

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。



・ゴムローラーは、機能を押し、指を離してからテープ送り 0 を押すと回転します。
・市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ（XR-24CLE）を使うこともできます。

1 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

・「綿棒できれいにする」の手順1の注意事項をお読みください。

2 **クリーニングテープを本機に装着します。**

3 **入を押して電源を入れます。**

4 **機能を押し、指を離してからテープ送り 0 を押して、1～2回「テープ送り」をします。**

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。
本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、最寄りの本機取扱店、もしくは「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

症状	原因と対処
●入を押しても何も表示されない	• 画面の明るさが適切でない ➜ 画面の明るさの設定を調整してください。 （97 ページ）
	• AC アダプターがきちんと接続されていない ➜ AC アダプターを正しく接続してください。 （9 ページ）
●正しく終了するが何も印刷されない	• 「空白」だけが入力されている ➜ 印刷したい文章を入力してください。
	• パソコンから何も入っていないデータを取り込んで印刷しようとした ➜ 正しいデータを取り込み直してください。
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	• プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している ➜ クリーニングをしてください。 （100 ページ）
	• インクリボンのたるみによるしわが発生した ➜ インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。 （13 ページ）
	• テープカートリッジが正しくセットされていない ➜ 正しくセットし直してください。
	• 印刷濃度が適切でない ➜ 印刷濃度を調節してください。 （98 ページ）
●印刷されない	• プリンターヘッドが高温になっている ➜ しばらく時間をおいてからお使いください。
●文字が入力できない	• 機能を押した状態になっている ➜ 取消しを押して、文字が入力できる画面にします。

症状	原因と対処
●目的の漢字に正しく変換されない	• 正しい「読み」が入力されていない ➜ 正しい「読み」を入力してください。特に、拗音（「しょう」の「ょ」など）や促音（「がっき」の「っ」など）の入力には注意しましょう。
	• 入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている ➜ [あア]を押して変更してください。 （69 ページ）
●パソコンとつながらない	• 通信の内容にあった通信モードになっていない ➜ デザインロゴ以外の場合：[USB リンク]を押してパソコンと接続できる状態にしてください。 デザインロゴの場合：[デザインロゴ]を押してデザインロゴのモードに入り「データインストール」－「受信」を選択してパソコンと接続できる状態にしてください。
	• USB ケーブルが正しく接続されていない ➜ 正しく接続し直してください。
	• 電源を入れていない ➜ (入)を押して、電源を入れてください。
	• プリンタードライバーがパソコンにインストールされていない ➜ パソコンにプリンタードライバーをインストールしてください。（別紙の「はじめにお読みください」参照） それでもつながらない場合には、パソコンの USB ポートを別のポートに差し替えたり、USB ケーブルを別のケーブルに交換したりしてください。 ※ USB ケーブルは、USB 規格に準拠した市販品（A-B タイプ）を使用してください。

症状	原因と対処
● [印刷プレビュー]などの機能キーを押しても画面が変わらない	• ひらがなに■が重なっている：例 あか 漢字に下線がついている：例 赤 ➜ ひらがなや漢字は必ず確定してください。 ■が重なっていたり下線がついていたりすると（確定前）、他の機能が使えません。
● (印刷) を押してもテープが出てこない	• テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない ➜ カバーをしっかり閉めてください。 （14 ページ）
	• テープが終了している ➜ 新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。（14 ページ）
	• テープが詰まっている ➜ テープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。 そのあと、正しくセットし直します。 （14 ページ） 重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。 ・テープ出口をふさぐ ・出てくるテープに触る ・テープカートリッジ収納部のカバーを開ける ・電源を切る

症状	原因と対処
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた	• インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした ➜ テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻き取ってください。そのあと正しくセットし直してください。（13 ページ） 重要 • テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。 • インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。
●テープが切れない	• テープカッターが摩耗している ➜「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。（128 ページ）
	• テープ出口にテープが詰まっている ➜ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。
	• 書式の余白が、「送り無」に設定されている ➜「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定してください。（42 ページ）
	• カットモードを「カットしない」に設定している ➜「カットしない」以外に設定してください。（21 ページ）
	• ラベルの長さが短い（余白小で約 28mm 以下／余白中で約 35mm 以下／余白大で約 44mm 以下） ➜ 印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

症状	原因と対処
●ハーフカットができない	• ハーフカッターが摩耗している ➜「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。（128 ページ）
	• カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している ➜ カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。（21 ページ）
	• マグネットテープを使用している ➜ マグネットテープはハーフカットされません。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。 重要 マグネットテープ、反射テープ、アイロン布テープは、カットモードを「カットしない」にして印刷してください。（23 ページ）
	• ラベルの長さが短い（余白小で約 28mm 以下／余白中で約 35mm 以下／余白大で約 44mm 以下） ➜ 印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	• 裏紙をはがしていない ➜ 裏紙をはがしてから貼ってください。（19 ページ）
	• 貼る場所やものが適していない ➜ 表面がザラザラしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。（19 ページ）
●ラベルの余白が大きい	• 書式の余白が「余白大」「余白中」に設定されている ➜「余白小」または「送り無」に設定し直してください。(42 ページ） （本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります）

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
印刷準備中 （印刷中に表示され、印刷が止まっている）	• 繰り返して印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 ➜ そのままの状態で、しばらくお待ちください。 プリンター部分が通常の温度に戻ると、印刷が始まります。	−
	上記の対処をしても「印刷準備中」のままで、印刷できないような場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	128
同じデータがあります	• ユーザー辞書の登録で、全く同じデータがすでに登録されている場合 ➜ 取消し を押して登録を終了してください。	95
同じ登録名があります	• 入力した登録名がすでに登録されているものと重複している場合 ➜ 登録名を入力し直してください。	61
該当候補なし	• 漢字辞書で候補の漢字がない場合 ➜ 取消し を押して違う読みを入力してください。	73
	• 単漢字変換で候補の漢字がない場合 ➜ 取消し を押して違う読みを入力してください。	72
行数オーバー 印刷できません	• 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜ 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	37、116
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	• フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜ 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	52
桁数が奇数（偶数）です	• バーコード印刷（ITF）のチェックデジット「無」において、入力する桁数が奇数の場合 ➜ 先頭に「0」を付けて入力し直してください。 • バーコード印刷（ITF）のチェックデジット「有」において、入力する桁数が偶数の場合 ➜ 先頭に「0」を付けて入力し直してください。	56
桁数が不足です	• バーコード印刷で、印刷できる桁数に満たないまま印刷しようとした場合 ➜ 正しい桁数に入力し直してください。	56
コメントが入力されていません	• QR コード印刷で、コメントが未入力のまま印刷しようとした場合 ➜ コメントを入力してください	57
作成中の内容が失われますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	• 文章を消して操作を進める場合 ➜ 実行 を押してください。 • 文章を消したくない場合 ➜ 取消し を押してからその文章を登録してください。	61

メッセージ	原因と対処	参照ページ
指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	• 印刷する場合 ➜ 実行 を押してください。 • 印刷しない場合 ➜ 取消し を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を 自動 にする」などの操作をしてください。	44
数字を入力してください	• ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 ➜ 数字を入力してください	28
前回正しく終了されなかった可能性があります	• 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ＡＣアダプターを取り外すなどして正常に終了できなかった場合 ➜ 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。	9、10
データが入力されていません	• ＱＲコード印刷で、データ未入力のまま印刷しようとした場合 ➜ データを入力してください	57
テープエラー テープカートリッジが不適当です	• テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 ➜ カバーをしっかりと閉めてください。 • 印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 • 電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。	13、14
テープエラー テープカートリッジを装着してください	• テープカートリッジが装着されていない。または、装着方法が誤っている場合 ➜ テープカートリッジを正しく装着してください。	13
デザインロゴのデータがインストールされていません	• デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」でパソコンからインストールしていないフォルダを選択した場合 ➜ インストールしてあるフォルダを選択し直すか、パソコンからデザインロゴのデータをインストールしてください。	63
登録データがありません	• 登録されていないプリセットタイトルを呼出し・修正・削除しようとした場合 ➜ 別のプリセットタイトルを選択してください。 • 登録データの呼出しや削除、またはユーザー辞書の修正や削除で、データが１つも登録されていない場合 ➜ データを登録してください	61、88、95
長さオーバー 印刷できません	• 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 ➜ テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。	18、21、43

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？ 実行 / 取消し	印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1 枚ごとのカットができない場合 • 印刷する場合 ➜ 実行を押してください。印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。 • 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合 ➜ 余白を大きく（小➜中または中➜大）指定し直してください（カットモードを「特殊テープ」、余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます）。	21、42
パソコンとの接続状況を確認してください	• USB ケーブルのコネクターがしっかりと接続されていない場合 ➜ USB ケーブル（USB 規格に準拠した市販品：A-B タイプ）をコネクターにしっかりと差し込んでください。 • パソコンの電源が切れている場合 ➜ パソコンの電源を入れてから操作してください。	−

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	• 印刷中に、テープが詰まった場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。 • オートテープカッターに異物がはさまった場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。	14
	• ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 ➜ ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 • テープカートリッジ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 ➜ テープカートリッジ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。	100
	• 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 ➜ 電源を切った後、強い光が当たらない場所でお使いください。	
	• マグネットテープを使用してカットモードを「通常」「切り離す」にした場合 ➜ カットモードを「カットしない」にして印刷してください。	23
	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	128

メッセージ	原因と対処	参照ページ
ブロック数オーバー	• 16 個目のブロックマークを入力しようとした場合 ➔ 文章のブロック数を減らしてください（不要なブロックマークを削除してください）。	38
無効な文字があります	• バーコード印刷で、入力可能な文字種以外の文字を入力して印刷しようとした場合 ➔ 不適当な文字を削除してください。 • バーコード印刷（CODABAR）で、スタートコード（先頭）またはストップコード（末尾）に「A」「B」「C」「D」以外の文字を入力して印刷しようとした場合 ➔ 正しい文字を入力し直してください。	56
	• 漢字辞書の読み検索で、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合 ➔ 正しい文字を入力し直してください。	73
	• ユーザー辞書登録（熟語変換）の読み入力で、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合または先頭の文字が長音の場合 ➔ 正しい文字を入力し直してください。	95
メモリーオーバー 登録できません	• メモリーの容量が足りず登録できない場合 ➔ 登録してあるデータをどれか消してから再登録してください。	62
メモリーオーバー 作成後に登録できません 実行 / 取消し	• 登録のためのメモリー容量が一杯になった状態で作成しようとした場合 ➔ 印刷はしたいが、登録しない場合は、実行を押して操作を続けてください。登録をする場合は、不要な登録文章を削除してから操作してください。	62

メッセージ	原因と対処	参照ページ
文字が入力されていません	• 文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 ➔ 文字を入力してから次の操作をしてください。	18
	• インデックスラベルで、未入力の項目のみを印刷または印刷プレビューしようとした場合 ➔ 入力してある項目を選択してください。	31
文字数オーバー コピーできなかった文字があります	• 49 文字を超えてコピーしようとした場合 ➔ 文字数を減らしください。	92
文字数オーバー 参照できなかった文字があります	• プリセットタイトルを 49 文字を超えて参照作成しようとした場合 ➔ 先頭から 49 文字だけ参照されますので、必要に応じて修正してください。	88
文字数オーバー ペーストできなかった文字があります	• コピーした文字を貼り付けると、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 ➔ 貼り付ける文字を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。	92
文字数オーバー 呼出しできなかった文字があります	• 選択したプリセットタイトルやタイムスタンプ、タイムスパンを呼び出すと、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 ➔ 呼び出す文字数を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。	88、91

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
			QU		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
		SHI			
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
			FU		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や		ゆ	いぇ	よ
	YA		YU	YE	YO

ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん				
	NN，N＋子音				
	MP＋母音、MB＋母音				

きゃ行	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ行	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ行	くぁ	くぃ		くぇ	くぉ
	QA	QI		QE	QO
くゎ行	くゎ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐゎ行	ぐゎ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ		しゅ	しぇ	しょ
	SYA		SYU	SYE	SYO
	SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ行	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ちゃ行	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ行	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

つぁ行	つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ行	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ行	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ			とぅ		
			TWU		
どぅ			どぅ		
			DWU		
にゃ行	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ行	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

ふぁ行	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA	FI		FE	FO
ふゃ行	ふゃ	ふぃ	ふゅ	ふぇ	ふょ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶゃ行	ぶゃ	ぶぃ	ぶゅ	ぶぇ	ぶょ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みゃ行	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶぁ行	ぶぁ	ぶぃ	ぶ	ぶぇ	ぶぉ
ヴァ行	ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
	VA	VI	VU	VE	VO

・カタカナを入力する場合は、あアを何回か押して、画面左上に「Rカナ」表示させてから入力してください。

小文字（拗音・促音）

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
XA	XI	XU	XE	XO
シフト＋A	シフト＋I	シフト＋U	シフト＋E	シフト＋O
ゃ	ゅ	ょ	ゎ	
XYA	XYU	XYO	XWA	
Y シフト A	Y シフト U	Y シフト O	W シフト A	

っ	カ	ケ
XTU、XTSU、LTU	XKA	XKE
T シフト U、TS シフト U	K シフト A	K シフト E

・N 以外の子音を 2 度入力しても「っ」や「ッ」になります。

記号・絵文字一覧

記　号

●記述・カッコ

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ
〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】わゐ
ゑヮヰヱ

●学術

＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀∠⊥⌒∂∇
≡≒≪≫√∽∝∵∫∬∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨
¬⇒⇔∀∃∓≃

●単位・略

°′″℃¥$¢£€%Å‰♯㎡㎥ℓ№℡Hz㍍
センチ メートル キロ グラム トン〒㊒☎TEL FAX No. K.K. (株) (有) (代) (内) (直) (呼)
(財) (特) (学) (㈱) (注) (控) (印) (秘) (検) (済) 明 大正 昭 平成 '00 '01 '02 '03 '04 '05
'06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19 '20 '21 '22 '23 '24 '25
'26 '27 '28 '29

●一般

＃＆＊＠§※〒♯♭♪†‡¶◯→←↑↓↘↖
↗↙⇨⇦⇧⇩⇔⇳☞☜☝☟☆★○●◎◇◆□
■△▲▽▼♠♤♥♡♣♧♦♢

●数字

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳
Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ
½ ¼ ¾

記　号

●数字

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

●ギリシア・ロシア

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ
Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π
ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К
Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с
т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

●診療科目

内 消 循 呼 腎 糖 リ ア 血 神 心 感 腫 外 胸 乳 甲 小 肛 整
形 脳 産 皮 泌 眼 耳 精 性 婦 新 気 美 歯 老 肝 胆 膀 ス

記　号

● QR コード専用記号

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝ
ゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－
±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢
£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼
※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔
∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯
♭♪†‡¶◯
ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥ
ΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπ
ρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮ
Яабвгдеёжзийклмнопрс
туфхцчшщъыьэюя

絵文字

●オフィス

●スケジュール

●天気

●注意

絵文字

●案内

●店

●食べ物

●暮らし

●乗り物

絵文字

●季節

●ビデオ

●オーディオ

●おもしろ

●趣味

●スポーツ

●人物

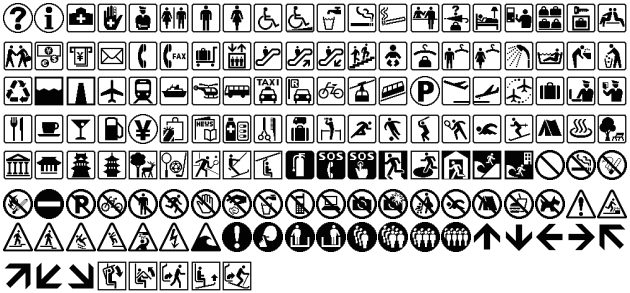
絵文字

●生き物

●干支

●星座

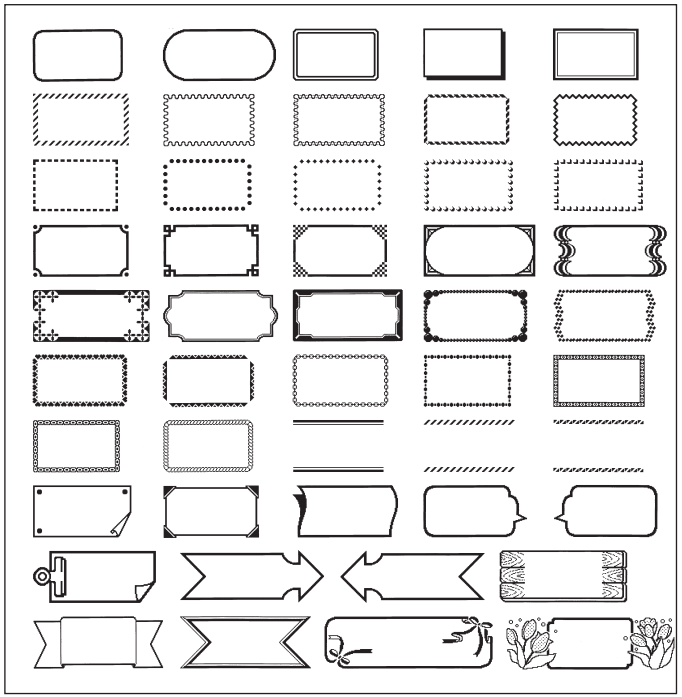
●公共

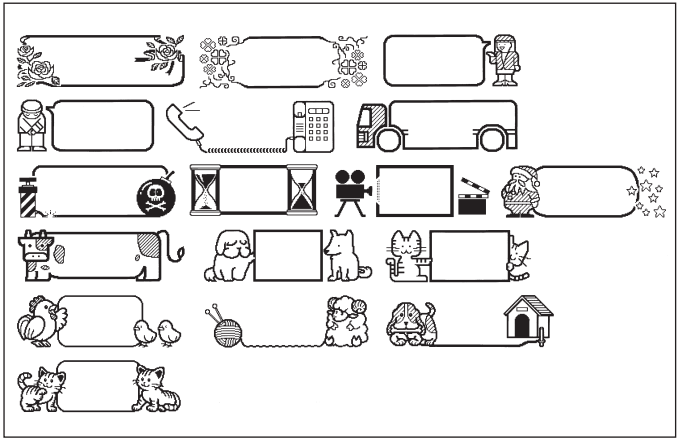


●全部

「オフィス」から「公共」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

フレーム一覧

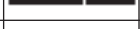
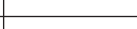
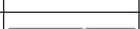




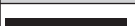
用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS（148㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル１～２						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント１～３						
		縦	4		タイトル１～３						
		縦	5		タイトル１～３、タイトル４～６						
	ミニDV（65㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル１～２						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント１～２						
		縦	4		タイトル１～３						
	8ミリ（94㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル１～２						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント１～２						
		縦	4		タイトル１～３						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS-C（89㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル１～２						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント１～３						
		縦	4		タイトル１～３						
オーディオ（15種類）	MD（71㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント１～２						
		横	4		タイトル１～３						
	MD背（57㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
	カセット（99㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント１～２						
		横	4		タイトル１～３						
	CD/DVD（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント１～２						
		横	4		タイトル１～３						
	CD/DVD背（114㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
		横	2		タイトル、コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前（18種類）	一般（65㎜長）	横	大１		こうもく、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大２		なまえ、こうもく						
		横	大３		なまえ、こうもく１～２						
	一般（45㎜長）	横	小１		こうもく、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小２		なまえ、こうもく						
		横	小３		なまえ、こうもく１～２						
	子供（80㎜長）	横	大１		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大２		ねん・くみ、なまえ						
		横	大３		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	大４		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	子供（50㎜長）	横	小１		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小２		ねん・くみ、なまえ						
		横	小３		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	小４		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	ふりがな付（80㎜長）	横	大１		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大２		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						
	ふりがな付（50㎜長）	横	小１		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小２		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	封筒（210㎜長）	縦	大１		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	大２		じゅうしょ、なまえ						
		縦	大３		じゅうしょ、なまえ						
	封筒（140㎜長）	縦	小１		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	小２		じゅうしょ、なまえ						
		縦	小３		じゅうしょ、なまえ						
	はがき（90㎜長）	縦	1		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	3		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（65㎜長）	縦	大１		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	大２		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（45㎜長）	縦	小１		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	小２		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	のし紙（95㎜長）	縦	大１		こうもく	○	○	○	○	−	−
		縦	大２		こうもく１～２						
		縦	大３		こうもく 1、こうもく 2						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	のし紙（65㎜長）	縦	小1		こうもく	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		こうもく1～2						
		縦	小3		こうもく1、こうもく2						
ファイル（17種類）	ファイル背（180㎜長）	縦	大1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		タイトル1～2						
		縦	大3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3						
	ファイル背（140㎜長）	縦	小1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		タイトル1～2						
		縦	小3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3						
	FD/MO（71㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル1～2						
		横	3		タイトル、コメント1～2						
	CD/DVD（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD/DVD背（114㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
		横	2		タイトル、コメント						
	備品管理（70㎜長）	横	1		こうもく1～3、ないよう1～3	○	○	○	○	−	−
		横	2		こうもく1～2、ないよう1～2						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
値札（10種類）	総額のみ（70㎜長）	横	大1		コメント、ねだん	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ひんもく、ねだん						
		横	大3		ひんもく1～2、ねだん						
	総額のみ（50㎜長）	横	小1		コメント、ねだん	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ひんもく、ねだん						
		横	小3		ひんもく1～2、ねだん						
	本体併記（70㎜長）	横	大1		ぜいこみ、ほんたい	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ひんもく、ぜいこみ、ほんたい						
	本体併記（50㎜長）	横	小1		ぜいこみ、ほんたい	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ひんもく、ぜいこみ、ほんたい						

ナンバリングフォーマット一覧

・3.5mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						24	18	12	9	6
		横	1		ナンバー	○	○	○	○	○
		横	2		コメント、ナンバー					
		横	3		ナンバー、コメント					
		横	4		コメント1、ナンバー、コメント2					
		横	5		コメント、ナンバー					
		横	6		ナンバー、コメント					

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/24mm	取扱説明書参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	4行	37ページ 51ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	5行	8行	84ページ
最大“縦”倍率	標準フォント	—	1倍	2倍	3倍	5倍	48ページ
複数行のときの縦倍率の合計	標準フォント	—	—	—	2まで	4まで	37ページ 48ページ
	微小フォント	—	2まで	3まで	5まで	8まで	51ページ 84ページ

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル※	○	○	○	○	○	○
インデックスラベル	×	×	×	×	×	○
拡大印刷	×	×	×	○	○	○
バーコード印刷	×	×	×	○	○	○
QR コード印刷	×	×	×	×	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○	○

※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧（113ページ）をご覧ください。

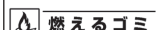
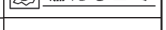
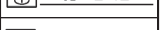
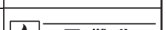
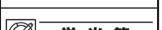
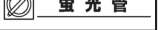
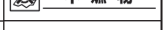
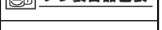
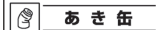
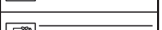
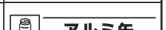
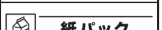
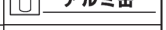
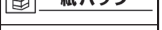
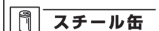
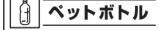
拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ

	3.5mm/6mm/9mm	12mm	18mm	24mm
2段	×	24mm	30mm	30mm
3段	×	36mm	45mm	45mm
4段	×	48mm	60mm	60mm

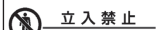
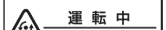
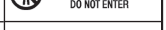
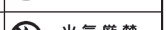
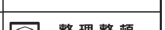
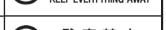
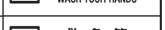
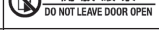
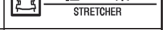
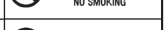
・18mm もしくは 24mm 幅のテープを使用する場合は、テープの上下に余白ができるので、テープを切ってから貼り合わせるか、透明のテープに印刷して重ね貼りしてください。

デザインロゴ内蔵データー覧

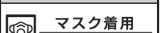
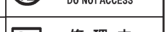
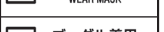
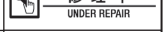
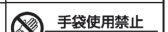
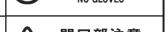
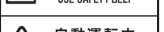
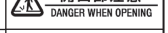
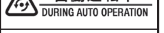
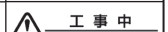
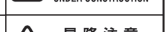
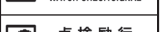
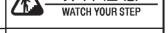
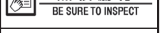
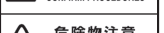
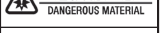
・フォルダ 1：職場で使える分別ラベル（30 種）
本体表示名：「職場／分別」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	燃えるゴミ		16	乾電池	
2	燃えないゴミ		17	ボタン電池	
3	可燃物		18	蛍光管	
4	不燃物		19	プラ容器包装	
5	あき缶		20	スプレー缶	
6	あきビン		21	衣類布製品	
7	アルミ缶		22	紙パック	
8	スチール缶		23	再生可	
9	ペットボトル		24	再生不可	
10	紙類		25	コピー用紙	
11	新聞雑誌		26	０Ａ用紙	
12	ダンボール		27	再生紙	
13	生ゴミ		28	上質紙	
14	発泡スチロール		29	ミックスペーパー	
15	金属		30	食品トレー	

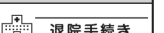
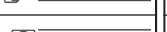
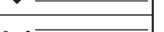
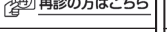
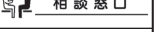
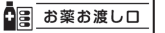
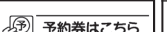
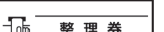
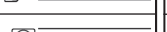
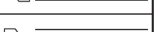
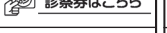
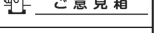
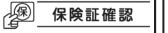
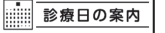
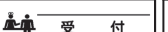
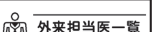
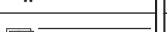
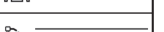
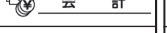
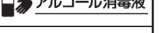
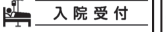
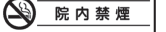
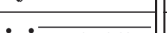
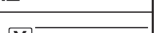
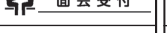
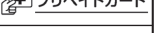
・フォルダ 2：現場で使える注意ラベル（30 種）
本体表示名：「現場／注意」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	立入禁止		16	運転中	
2	通行禁止		17	喫煙所	
3	火気厳禁		18	整理整頓	
4	土足厳禁		19	いつもキレイに	
5	物をおくな		20	手洗励行	
6	駐車禁止		21	救急箱	
7	開放厳禁		22	担架	
8	禁煙		23	安全第一	
9	飲食禁止		24	清掃清潔	
10	携帯禁止		25	危険	
11	手をふれるな		26	開閉注意	
12	頭上注意		27	消火器	
13	足元に注意		28	故障	
14	作業中		29	撮影禁止	
15	安全確認		30	使用禁止	

・フォルダ３：現場で使える注意ラベル２（30 種）
本体表示名：「現場／注意２」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	昇降禁止		16	マスク着用	
2	修理中		17	ゴーグル着用	
3	点検中		18	手袋着用	
4	手袋禁止		19	安全帯使用	
5	開口部注意		20	自動運転中	
6	落下物注意		21	運転禁止	
7	工事中		22	合図確認	
8	昇降注意		23	点検励行	
9	高温注意		24	呼称励行	
10	高電圧注意		25	手順確認	
11	感電注意		26	危険物注意	
12	積み過ぎ注意		27	巻込まれ注意	
13	保護帽着用		28	はさまれ注意	
14	メガネ着用		29	飲料不適	
15	耳栓使用		30	酸欠注意	

・フォルダ４：病院で使える案内ラベル（30 種）
本体表示名：「病院／案内」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	初診の方		16	退院手続き	
2	再診の方		17	相談窓口	
3	外来の方		18	お薬お渡し口	
4	予約券		19	整理券	
5	診察券		20	ご意見箱	
6	保険証確認		21	診療日案内	
7	受付		22	外来担当医	
8	会計		23	アルコール消毒	
9	入院受付		24	院内禁煙	
10	紹介状受付		25	ご自由にどうぞ	
11	面会受付		26	プリペイドカード	
12	検査受付		27	検査室	
13	人間ドック		28	処置室	
14	処方せん受付		29	診察室	
15	入院手続き		30	レントゲン室	

内蔵漢字一覧

内蔵されている漢字の中には単漢字変換（72 ページ）を使わないと変換できないものもあります。

JIS 第 1 水準漢字一覧

あ
亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷安庵按暗案闇鞍杏

い
以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭院陰隠韻吋

う
右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲

え
荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴英衛詠鋭液疫益駅悦謁越閲榎厭円園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁艶苑薗遠鉛鴛塩

お
於汚甥凹央奥往応押旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶臆桶牡乙俺卸恩温穏音

か
下化仮何伽価佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観諌貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩癌眼岩翫贋雁頑顔願

き
企伎危喜器基奇嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居巨拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近金吟銀

く
九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫訓群軍郡

け
卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺限

こ
乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐糊袴股胡蔭虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉交佼侯候倖光公功効勾厚口向后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閤降項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮魂

さ
些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済災采犀砕砦祭斎細菜裁載際剤在材罪財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸餐斬暫残

し
仕仔伺使刺司史嗣四士始姉姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識鴨竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充十従戎柔汁渋獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒署書藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾条杖浄状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾拭植殖燭織職色触食蝕辱尻伸信侵唇娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵壬尋甚尽腎訊迅陣靭

す
笥諏須酢図厨逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉椙菅頗雀裾澄摺寸

せ
世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔析石積籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線繊羨腺舛船薦詮賎践選遷銭銑閃鮮前善漸然全禅繕膳糎

そ
噌塑岨措曾曽楚狙疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓蔵贈造促側則即息捉束測足速俗属賊族続卒袖其揃存孫尊損村遜

た
他多太汰詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽誰丹単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談

ち
値知地弛恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄逐秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯丁兆凋喋寵帖帳庁弔張彫徴懲挑暢朝潮牒町眺聴脹腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍賃鎮陳

つ
津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪壷嬬紬爪吊釣鶴

て
亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点伝殿澱田電

と
兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃梼棟盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得徳涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍

な
奈那内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難汝

に
二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入如尿韮任妊忍認

ぬ
濡

ね
禰祢寧葱猫熱年念捻撚燃粘

の
乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農覗蚤

は
巴把播覇杷波派琶破婆罵芭馬俳廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅楳煤狽買売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩頒飯挽晩番盤磐蕃蛮

ひ
匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓頻敏瓶

ふ
不付埠夫婦富冨布府怖扶敷斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福腹複覆淵弗払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮焚奮粉糞紛雰文聞

へ
丙併兵塀幣平弊柄並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変片篇編辺返遍便勉娩弁鞭

ほ
保舗鋪圃捕歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆

ま
摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鮪柾鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫蔓

み
味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民眠

む
務夢無牟矛霧鵡椋婿娘

め
冥名命明盟迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺

も
摸模茂妄孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻籾貰問悶紋門匁

や
也冶夜爺耶野弥矢厄役約薬訳躍靖柳薮鑓

ゆ
愉愈油癒諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕

よ
予余与誉輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲沃浴翌翼淀

ら
羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪乱卵嵐欄濫藍蘭覧

り
利吏履李梨理璃痢裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両凌寮料梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟

る
瑠塁涙累類

れ
令伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯蓮連錬

ろ
呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論

わ
倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀湾碗腕

JIS 第２水準漢字一覧

複数の読みがある漢字は、重複して掲載しています。

あ
亞侑傲價啖喘鳴嗟嘲圷址埃墟婀嫂寇廈彙怱愡慣扼晏晨晟晰曖曠椹殷沐洒浣淺游滌濳炙炯炮焙煥争當痣皓皹盪矜矮糺綺縣羹聚與茆葭蔬薊藪藹蘆蛸蜊蜑覿誂諢證豈贖趾跌踪軋逎邂濾邊鑞阡隘霎霰靄鞋頷顋餡饒鮑鮫鰺鰒鰊鴉鷲堯

い
佚勳嚴圷壹奥巖已帷廈廬弩彙忿慇愾愴憮戉戦摯曰椁棘櫟殷毬氣洟湮澳炒焉熨爲甍疣疼痩礒齋稻絲綸綛聊苺藺蚓蜀蝋蝗蠡訝詭誂諢諫諱鄙鈑鑄閾陋隕頤鯆鰡鰹鼬鼾

う
侑吽呻唸鳴嘔嘯婉嫗悄憫罹捜撼暈栩棯鬱沽曦疼盂碾筌粳紆茴萼藝蘊蛆蟒蠢袿裲謡謳賣釉鑿闕闥靱頌頴頓鰓饉鶯鶇鷲麒

え
寃嚥圓婉嫣彗徊惠抉捐掏曰朶條榮槐泄衍逓渕湮烟焉狄穢筵箙篭綛繹翳腋薙蛯蜒蝪裔豌鉞閤霎醗鯣鰓

お
侈俤倨傀傲儼凰庖吝嗚嘔嚴囮嚊夥奢奥奸嫗屏崗帯悵愕惶慄慳懊應懐扼拗拝拇掟撥收斂晏朦朧枉檻櫻欅汪游澳熨獺甌疸瘧窪箚縅脩隋膃荘蜃蟒諡謳邱隕隴竟頌頤颪飫餞驕鰛鵞鶯熙

か
仄佻會偕傀價冑函刮剋巻厠呵咀咬喀嗅嚊囮壘夥奸姜嬶孵學嵌嶽巖帷廈徊悍愕愾慳懐罹揶揄搦攪攫攅數旱暈暉枷枳檜栞框桾楷楫楮槍槐槁樂檻櫂櫚沽涜涸滓澱煥煌燗燎燿爨爬猾獪獺珈瑕甌疥疳疸痒瘍瘡癇盥眷瞰矍礙窩竃竈筺箚簔籠簪籃糜絣綸縅罐羚羹翔翡翳膕胛膾臈舸艱艾茴菁葭萼翦薙虔蚋蠣蛞蛬蝸蝪蝣螂螯蟇蠟衖衙袴褶訛訝訶諌諧諤谺豈貉贓踝踵辣邂邯醸鉗鉤鉋錻閂閾霍鞋頷顆餉餡韲馥駱騙鬟鮠鯉鳥鴉鷲鵠鶚鶯鸛黴鼾齟齠

き
來倨兢几剪卉听咎哄喀嗅嚴毀墟夾姜嬌屓屹峡嵜悸愾愧憬憮截拮拱挟揆暉杞杣枳枢框梟檎棘槿橇檠藥櫃欅毬麾氣淨澀炯炬狡狭瑕畸疆疵痩瘍瘧瘡癸皃矜犠秬竝筺筥糺絆綺緤羈膠舅莢蓳薑蚯蛟蟯衾詭諱譴譏豈赳跪躬軋轢辟邉邸鋏鑚雉竟餃饉旙馼駁驕驥髷魏鱚麒堯熙

く

來勳吼啖啾嘴圀國屎岫峅惧懴斟曖杞栩梳栴椚槲樫槫樔淋澳燻癲皹眩瞑砕箝箟箪緕茱萸葯藏藥蚯蛄蛛踝踵鉤勒頸頽鰓黎齲

け

儉刮劍劒勁巻咳嚴奎奸嶮巌彗恵慳憬抉拮樫橄検欅氣炯烟痙眩眷睨瞼礙褄穢筧箝縣纈脛腱鞳艾薊藝虔蛄蜆蜷螢螻蠍銜荏褻訝蹊釵鉗閨險竟頸顯驗鮃鳧鮃鵙鶏齠

こ

亢傲兒凩凰剋吽吼咬哄哮哭圀國毀壺壼壽夾媚寇峡崗嵐廣徨怙恆恍惶慷應勲戀戮拱拶捏攪敲曠杞框栢棍槲楮槁毫汞沽洽洸凅淆滸漿濾炬煌狡狭猴珈珀琥琶瓠瘤皓盒盡韋礫禀笏箍箏箏篁篝籠粳糀纈纉羹聲肛胛朏膠茆董薨蘚號蛄蛟蝠蝗蝙蟋蜂褝詰誅譽舒蹊轉逅鈎錮鏝鑓鑢閘鞐餃閑魍魑鯒鰆鱚鸛

さ

倅凛剎哮噛嗟噪囁囀塹壮奨娑寞寥寄崔彗彷徊徘徨悶塹憬懴捜晏柞椒棹椹榮榴様櫻殷麾沛洒浚潔滓滄澤炸熾爨狭猜猴瑣疆疝盒砌砕磋礫礙襟齋竄笊箕簪聴臍莢蔗薺藷蛹蝪蠍觴讙賽蹉躁遣鏨鑚鑿閂雑霰靱颯髏髑鰓鰆鷦鷯齊熙

し

乗侈侏俎僣兒厠呵呻咀咄咤啾嗟嗜嘴嘯囁嚇嚊址塒壽奢姜娑娜嫋宸實將屎岫峙嶌嶼幟廂從忸恣悄悛愼憔戌掟揉搦攝摯攘收敍斟昵晨晰杼枳栞梔條椋椒棯椙椹樒樅檢櫚鬱歿泗衍洵洒浚淨湮淋滓漿滲滌澑瀟炙炒熾燗猩疊疵疽痺癪皺盡眞睫睛祀祠齋稠穣笏笙筍箏箏篩簪籔絲絨紳縒繩繝繽蓋翅翔聚聳聲肆脩臂臈舅舐舳芍茱茹茆莇荘菘菁蕾蕘蕪薈藷藁蕭薔藉虱蛆蛛蜆蜀蜑蝨蝪蟐蠑蠏蠍蠖蠎蠖蠏蠖蠏蠖蠏

ほ
僂函刎辨匍匐卍咄喀喇囃夾婢孕寞峡嵌彈彙徘忖忸愧慙憊拜拌拂拮挟捩搏撥攀攘旆杵椒槃檠藥沛洟滸瀑焙爬獏玻珀琲瑪瓣疥癸盂瞞礫轡祓秣筺筥箒絆羞翅胚胚腑艀苺范茉菠萼萬纂薈薔薇蝟蟇蟠袢襦詢譚貉貘賣跛跋邁鈑鉋鋏鍼雹霹颯餞驀騒鬘魄鬩鮠鰌鱧徽鼾遙

ひ
几剽曼單壜壼壽婢媚嬪將屁屓屏廂廣彌彎憑憫扁拂攣早晝暉柩檜檠藥櫃櫁洽洸滉濱炯煥燧狒珀琲瓠疥痙痺癇皓皹眸睛矮砒碾祕齋棄禀糜罠罷翡脾臂苞薇蜚蟇襞襴譬贔贈鼈跛跪轣迪鄙閤闢雹鞴顰飄髀髯鬚鬩鮃鮴鵄鶫齏徽齊熙

ふ
佛俘俯刎匐雙哺奎孵巫帙彿忿懐拂掉臭桴犂樽檄渕潭瘋祇祿笙箆箙篶篩總腑艀艘蚋蚌蝠蝮衾袱褝訃誣諷跋蹂躙輻醗鍍鮃鰌鳧鴟鷲麩

へ
辨屁屏扁捐朶璧瓣眄睥瞑砒篦聘臍舳蝙螟袂襞諂諛貶辟辯邊邉酩闢霹騙鮃鼈

ほ
仄佛僂匍匐厄听吼咆哮哺埃塹寳彪幇彗彷彿恣拇拋擅旁旄昴朦桍梵榜檬歿殱沐澑炮烽焙默琺瑠甌薨疱痣皰眸硼祠穂箒絣罐耄肆膀臍舫芒苞茫菠萠蒡蓑蛙蛯螢蟐褒謗譽邊鉈鉋鞴頌馗魍鮑鯆鰡鷲

ま
俎卍卷曼圓團娑學寞將彪彎懣晟枉枡毬洵淆滿琺當眞睫瞞瞼祀秣紆繚纒芻苺茉萬蝮蓑襠詢諄賣邁錻鏝雑饅驀髷髪槇

み
實巫彌憫樒汞滿澪潴猩獏癸瞠瞰砌磋礒禊蛇罠聊肆茗薨蚓蚯蛟螟躬迪醐阡隧霎馗讎鵄鷦鷯靡遙

む
彪巫撻曠橿眸窩笘笞筵縢聟菘蟲貉貪賽邨鈍齲

め
惠暈瑙瑪眩瞑笹紆繚聘茗螟邂邏酩

も
傀刺址懣揉朦樅檬氈沐泄燗默疱齋糯耄脾舫芟芒萠銛靄髀魍鮃鵙

や
已恪悴憔扼揶晏棠椰烙燎簗繹腋菟莉藪薈藥衙輻鑢頤鵺

ゆ
佻侑喩峅揄揺檮楡游疣禅緯臾舳茹萸蚰蝓蝣裄諛譲邁釉饒鼬

よ
豫兌夭佞孕憑拗揺攀様誕燿瑤痒瘍縒與芟萬葯蕭蕚蛹衾装詁誦謡譽讀酊酪酔閾醤鴦鸚遙熙

ら
來儡剌喇拉擂攬楽欅涮瀾烙燗爛癩磊禮籃纜薙蕾襴辣邏醐駝駱騾鸞

り
凜各寥崚廬悧恪慄罹戮榴櫚濾燎瘤棗禀簗綸繚羚聊莉蓼蕎蘭蛤蜊裲詈躙輔醐鑢隴霖驢魎鷯凜

る
壘泪瘤縷髏

れ
冽戀捩攣斂檸檬櫟澪瀝犁礪礫禮羚藪蛤蠣轢靂鰊鱧鴒黎

ろ
廬拉朧柧樓櫟櫚濾瑯碌祿籠縷臘臈艫蘆螂螻轆轤鑢陋隴勒驢髏鱸

わ
侘辨听呵夭彎悸拌猥猾獪獰瓣矮穢穣窩罠腋膀藝蟠豌鞋

仕様

形式　：KL-G1

入力

キー配列　：JIS 配列準拠
入力方法　：ローマ字入力、JIS かな入力
変換方式　：熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数　：熟語変換　約 142,000 語（派生語を含む、追加可能）
単漢字変換　約 13,000 語
漢字辞書機能：読み検索、総画数検索、部首検索

文字種

6,253 文字（+ 外字 4 文字）

漢字：4,166 文字（JIS 第 1 水準：2,965 文字／ JIS 第 2 水準：1,201 文字）
ひらがな：249 文字（全 角：83 文字／上付、下付：166 文字）
カタカナ：258 文字（全 角：86 文字／上付、下付：172 文字）
数字：30 文字（全角：10 文字／上付、下付：20 文字）
アルファベット：156 文字（全角：52 文字／上付、下付：104 文字）
ギリシア文字：48 文字（全角：48 文字）
ロシア文字：66 文字（全角：66 文字）
記号：724 文字（全角：424 文字／上付、下付：300 文字）
絵文字：556 文字（全角：556 文字）

• 外字は 4 文字まで登録できます。

表示

液晶表示　：128 × 64 ドット+シンボル（8 桁× 4 行）
入力部分　：8 桁× 1 行（フリーラベル以外での入力時）
8 桁× 3 行（フリーラベル入力時のみ）
表示文字構成：16 × 16 ドット（全角）
8 × 16 ドット(半角…メニュー･メッセージ専用)
8 × 8 ドット（1/4 角）

印刷

印字密度　：200dpi
印刷方式　：熱転写方式
印字速度　：約 20mm/ 秒
•印字速度は印字環境、条件等により異なります。
印字幅　：約 16mm
a）2mm（テープ幅 3.5mm）
b）4mm（テープ幅 6mm）
c）7mm（テープ幅 9mm）
d）10mm（テープ幅 12mm で通常印刷時）
e）12mm（テープ幅 12mm で拡大印刷時）
f）16mm（テープ幅 18mm/24mm）

文字構成　：ビットマップフォント
書　体　：和文書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体）
かな 8 書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース）
英数 12 書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース、ステンシル、ポップ、ボールドスクリプト、ブラックレター）
※この書体は、（財）日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。
フォントとして無断複製することは禁止されています。
平成明朝体 TMW8、平成角ゴシック体 TMW5
印刷方向　：横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体：標準・太字・白抜・影付・立体

印字行数　：3.5mm 幅テープ使用時　1 行印刷可能
6mm 幅テープ使用時　1 ～ 2 行印刷可能
9mm 幅テープ使用時　1 ～ 3 行印刷可能
12mm 幅テープ使用時　1 ～ 5 行印刷可能
18mm/24mm 幅テープ使用時
1 ～ 8 行印刷可能

内部記憶

文字登録用の記憶　：約 2,000 文字
ユーザー辞書　：30 件
熟語変換学習　：約 125 語
単漢字変換学習　：約 20 語
プリセットタイトル　：最大で 49 文字、50 件まで登録可能
コピー / ペースト　：最大で 49 文字、9 件まで登録可能
デザインロゴ　：4 フォルダ

登録・呼出し

登録　：文字編集用記憶エリアー括登録＋自動並び替え
呼び出し　：順次呼び出し

電源・その他

動作用電源：AC アダプター（AD-A24250L）
家庭用 100V 電源使用
内蔵時計動作用電池寿命
約 8 年
タイムスタンプ、タイムスパンでの年月日、時刻が正しく表示されない場合は、内蔵時計動作用電池の消耗が考えられます。この場合は、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください。（有料交換）
消費電力　：26W
オートパワーオフ　：約 6 分
・パソコンに接続しているとき、または、伝言板を表示しているときには、オートパワーオフは、はたらきません。

時計精度　：日差± 3 秒（常温 15℃～ 35℃）
大きさ　：幅 202mm ×奥行 216mm ×高さ 64.5mm（足含む）
質量　：約 790g
使用温度　：10℃～ 35℃

別売品について

別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下の URL をご確認ください。
http://casio.jp/d-stationery/

● クリーニングテープ
XR-24CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ
CU-10
9ミリ幅～24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

・品切れの際はご容赦ください。
・別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

アルファベット・数字

AC アダプター …… 9
QR コード …… 57
USB ケーブル… 「はじめにお読みください」
USB コネクター…… 8
2 行印字 …… 37

あ行

アフターサービス…… 127
網掛…… 87
アルファベットの入力…… 69
イメージャー表示…… 37
印刷…… 18
印刷濃度…… 98
印刷プレビュー…… 18
印刷方向…… 39
印字行数…… 37,52,116
印字サイズ…… 48
印字密度…… 124
インデックスラベル…… 30
上付（印字サイズ）…… 84
裏書き…… 40
上書き…… 79
英数書体…… 81
絵文字…… 78
絵文字一覧…… 110
エラーメッセージ…… 104
オートカッター…… 21
オートパワーオフ…… 11
大文字の入力（アルファベット）…… 69
送り無…… 20
オリジナルの文字（外字）…… 93

か行

カーソル…… 68
改行…… 37
外字…… 93
角ゴシック体…… 81
学習機能…… 71
拡大印刷…… 35
確定…… 71
各部の名前…… 8
影付…… 85
下線（修飾）…… 87
下線（変換）…… 71
カタカナの入力…… 70
カタカナ変換…… 70
カットモード…… 21
かな漢字混じり文の入力…… 71
かな書体…… 81
かな入力…… 68
画面…… 17
漢字辞書…… 73
漢字の入力…… 71
キー…… 15
キーボード…… 15
キーのはたらき…… 15
記号一覧…… 109
記号の入力…… 77
輝度（画面）…… 97
行頭…… 68
行末…… 68
均等割付（ブロック）…… 47
均等割付（文字）…… 46
クリーニング…… 100
後退…… 78
コピー…… 92
ゴムローラー…… 100
小文字の入力（アルファベット）…… 69
小文字（促音・拗音）の入力
（ひらがな・カタカナ）…… 70
こんなときは（トラブルシューティング）… 101

さ行

サイズマーク…… 49
削除（部分）…… 79
削除（文削除）…… 79
削除（文字削除）…… 78
時刻指定…… 98
下付（印字サイズ）…… 84
ジャストフィット印刷…… 48
ジャストフィットマーク…… 49
熟語変換…… 71
仕様…… 124
使用できるテープ…… 116
初期化…… 10
初期フォント…… 83
書式…… 39
　全文単位…… 40
　ブロック単位…… 39
書体…… 81
白抜…… 85
数字の入力…… 76
スクロール…… 68
ステンシル…… 81
スムージング…… 41
設定
　印刷濃度…… 98
　輝度調整…… 97
　初期フォント…… 83
　挿入／上書き…… 80
　デモ印刷…… 98
　日時設定…… 98
　ブザー音あり／なし…… 97
　ユーザー辞書…… 95
　ローマ字／かな入力…… 68
前候補…… 71
全文削除…… 79
全文書式…… 40
全文頭…… 68
全文末…… 68
総画数検索…… 74
挿入…… 79

た行

タイムスタンプ…… 91
タイムスパン…… 91
ダイレクト設定…… 45
縦書き印刷…… 53
縦横同時印刷…… 53
単漢字変換…… 72
小さな文字…… 51,84
定型句…… 32
定型フォーマット…… 25
手書き…… 81
デザインロゴ…… 63
デザインロゴ内蔵データー覧…… 117
データの削除…… 62
データの登録…… 61
データの呼び出し…… 61
テープ…… 13
テープ送り…… 20
テープカートリッジ…… 13
テープカートリッジのセット…… 13
テープカートリッジの取り出し…… 14
テープガイド…… 13
テープカット…… 21
テープ長固定…… 44
テープ出口…… 8
テープ長さダイレクト設定…… 45
テープの長さ…… 43
テープ幅と行数・倍率一覧…… 116
デモ印刷…… 98
電源…… 9
電源を入れる…… 11
電源を切る…… 11
伝言板…… 60
登録…… 61
トラブルシューティング…… 101
取消し（文字修飾）…… 88

な行

内蔵漢字一覧…… 119
長さ指定…… 43
中寄せ（ブロック）…… 47
中寄せ（文字）…… 46
斜め…… 40
ナンバリング（通し番号ラベル）…… 28
日時設定…… 98
入力
　絵文字…… 78
　外字…… 93
　記号…… 77
　文字…… 69

は行

バーコード…… 54
ハーフカット…… 21
倍率マーク…… 49
パソコンとの通信 ……「はじめにお読みください」
バックライト…… 8
パレット…… 81
微小フォント…… 51,84
左寄せ（ブロック）…… 47

左寄せ（文字）…… 46
表示画面…… 17
ひらがなの入力…… 69
フォーマット…… 26
フォーマット選択…… 50
フォント（書体）…… 81
複数行の印字…… 37
ブザー音…… 97
部首検索…… 74
付属品……「はじめにお読みください」
太字…… 85
部分削除…… 79
ブラックレター…… 81
フリーラベル…… 36
プリセットタイトル…… 88
プリンターヘッド…… 14
フルカット…… 21
フレーム…… 52
フレーム一覧…… 112
プレビュー画面…… 18
ブロック…… 38
ブロック間隔…… 41
ブロック書式…… 39
ブロック長…… 40
ブロック長固定…… 43
ブロックの割付…… 47
プロデュース…… 81
プロポーショナル…… 40
文削除…… 79
ペースト…… 92
別売品について…… 125
変換
　カタカナ…… 70
　熟語…… 71
　単漢字…… 72
方向（印刷方向）…… 39
ボールドスクリプト…… 81
ポップ…… 81
保証…… 127
ボンジュール…… 81

ま行

丸ゴシック体…… 81
右寄せ（ブロック）…… 47
右寄せ（文字）…… 46
明朝体…… 81
メモリー（登録）…… 61
メモリーの初期化（リセット）…… 10
メロディ…… 81
文字間隔…… 39
文字キー…… 16
文字サイズ…… 48
文字サイズ（行単位）…… 50
文字サイズ（文字単位）…… 48
文字削除…… 78
文字修飾…… 87
文字体…… 85
文字の入力…… 68
文字の訂正…… 78
文字倍率…… 49
文字割付…… 46

や行

ユーザー作成…… 30
ユーザー辞書…… 95
用途別ラベル…… 25
余白…… 42
読み検索…… 73

ら行

リセット（初期化）…… 10
立体…… 85
連番印刷…… 28
ローマ字入力…… 68
ローマ字入力一覧…… 108

わ行

枠付…… 87
和文書体…… 81
割付…… 46